

令和4年3月25日
中部地方整備局

令和4年度中部地方整備局関係予算の概要について

配分総額： 7, 443億円

令和4年度中部地方整備局関係配分予算は、人（QOLの向上）を重視した魅力ある地域づくりを目指し、「国民の安全・安心の確保」、「社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大」、「豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくり」の3点を柱に、インフラ整備・国土強靱化等の取り組みを強力に推進します。

※QOL (Quality of Life) : 地域と生活に対する個人の満足度

1. 添付資料

令和4年度中部地方整備局関係予算の概要

なお中部地方整備局WEBサイトにも掲載されております。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/guidance/yosan/R4.htm>

2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、伊那記者クラブ、塩尻桔梗ヶ原記者クラブ、山梨県政記者クラブ、富士吉田市政記者クラブ

3. 問合せ先 国土交通省

中部地方整備局

< 総括 >	企画課	長	小川 達也	電話	052-953-8127
	会計課	長	有賀 篤	電話	052-953-8136
< 公園関係 >	都市整備課	長	武田 正昭	電話	052-953-8573
< 住宅関係 >	住宅整備課	長	小林 真大	電話	052-953-8574
< 河川関係 >	河川計画課	長	三國谷 隆伸	電話	052-953-8148
< 道路関係 >	道路計画課	長	大西 宵平	電話	052-953-8168
< 港湾関係 >	港湾計画課	長	福田 浩司	電話	052-209-6321
< 海岸関係 >	河川計画課	長	三國谷 隆伸	電話	052-953-8148
	港湾計画課	長	福田 浩司	電話	052-209-6321
< 官庁営繕関係 >	計画課	長	田中 幸一	電話	052-953-8185

令和4年度 中部地方整備局関係予算の概要



令和4年3月

国土交通省中部地方整備局

令和4年度 中部地方整備局関係予算の概要

目 次

1. 令和4年度中部地方整備局関係予算の基本方針 . . . P. 1
 2. 令和4年度中部地方整備局関係予算の配分額 . . . P. 5
 3. 実施事例
 - 3-1. 実施事例（位置図） . . . P. 6
 - 3-2. 整備事例（個表） . . . P. 7
 - 3-3. 施策事例（個表） . . . P. 54
 4. 政策つなぐマッピング . . . P. 55
 5. 県別の整備箇所事例一覧 . . . P. 59
- （参考資料）
令和4年度の道路調査の見通しについて . . . P. 64

1. 令和4年度中部地方整備局関係予算の基本方針

1) 配分方針

令和4年度中部地方整備局関係予算については、令和4年2月にとりまとめた「中部圏長期ビジョン」の人（QOLの向上）を重視した魅力ある地域づくりを目指し、「国民の安全・安心の確保」、「社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大」、「豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくり」の3点を柱に、人々の暮らしや、国際競争力強化を支える基礎となるインフラ整備・国土強靱化等の取り組みを強力に推進します。

※QOL (Quality of Life) : 地域と生活に対する個人の満足度

①国民の安全・安心の確保

気候変動の影響により激甚化・頻発化する風水害や切迫する地震災害等に屈しない、強靱な国土づくりのため、「流域治水」の本格的展開、総合的な土砂災害対策の加速化・強化、地震、豪雨、豪雪等災害時における人流・物流の確保のための交通ネットワーク整備、盛土による災害防止、インフラ老朽化対策等による持続可能なインフラメンテナンスの実現等に取り組み、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を構築します。

■庄内川では、気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市町等が一体となって、狭窄部下流の名古屋市街地等をまもる河道掘削を実施するとともに、引き続き狭窄部対策として県道枇杷島橋の架け替えを推進します。

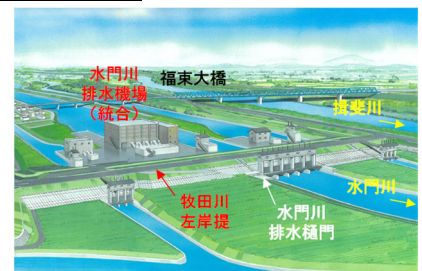
■長良川では、国・県・市が連携し、長良川遊水地の整備に向け、美濃市横越地区において堤防整備を実施するとともに、関市池尻地区においても引き続き調査・検討を実施します。

■牧田川では、国・県・大垣市が連携し、水門川の内水安全度の向上を図るため、鵜森三郷排水樋門の整備等に着手し、木曽川上流特定構造物改築事業（新水門川排水機場）を推進します。

■狩野川では、沼津市、清水町、長泉町等を流れる支川黄瀬川の安全度向上を図るため、堤防高が不足する箇所において、引き続き築堤護岸整備を実施します。

■宮川では、国・県・市が連携し、勢田川流域の治水安全度向上を図るため、河道掘削を実施するとともに桧尻川排水機場のポンプ増強を推進します。

■ダム再生のモデルケースとなる新丸山ダムでは、治水安全度の向上に向け、本体工事を推進するとともに、引き続き、付替道路工事等を推進します。



木曽川上流特定構造物改築事業(イメージ図)



新丸山ダム建設事業(イメージ図)

- **設楽ダム**では、治水安全度の向上及び安定的な水の供給に向け、付替道路工事等を推進するとともに、引き続き、本体及び関連工事を推進します。



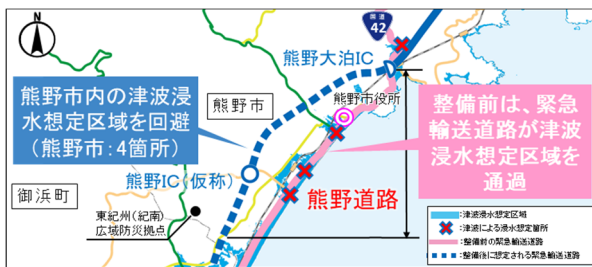
天竜川中流地区地すべり対策事業

- **天竜川中流地区**では、近年の豪雨の増加傾向や南海トラフ地震の発生懸念により地すべりの発生リスクが高まっているため、引き続き、地すべり対策を推進します。

- **国土強靱化に資する高規格道路のミッシングリンクを解消**

し、地域の防災機能強化を図ることで、国民の安全・安心を確保するため、国道42号熊野道路、紀宝熊野道路の整備を推進します。

- 近年の災害の激甚化・頻発化を踏まえて、強靱で信頼性の高い高規格道路ネットワークを構築し、災害時の代替機能を発揮する伊豆縦貫自動車道の整備を推進します。



国道42号熊野道路
津波浸水想定区域を回避



国道414号河津下田道路(Ⅱ期)
河津IC(仮称)付近

- **道路施設**(橋梁、トンネル、道路附属物、舗装等)の老朽化に対し、定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設の対策を推進します。



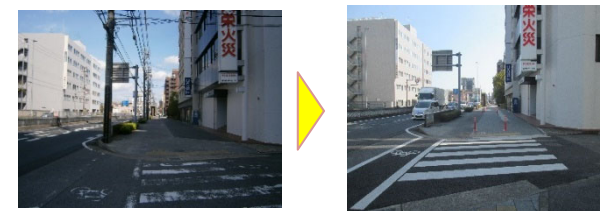
【対策事例】床版コンクリートひび割れ

- **大規模地震による落橋・倒壊の防止**に加え、路面に大きな段差が生じないように、橋梁の耐震対策を推進します。



【対策事例】橋梁の耐震補強

- **道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光の観点から、無電柱化を推進します。**



【整備事例】国道1号 岡崎康生電線共同溝

- **津松阪港海岸**では背後の生命と財産を守るため、伊勢湾台風を契機に整備された既存海岸堤防の老朽化対策及び耐震対策を推進します。

- **港湾施設**(岸壁、防波堤)の経年劣化が進行しているため、定期点検等の結果を踏まえ、将来にわたり港湾施設の機能を発揮できるよう老朽化対策を推進します。

- **津波来襲時の背後地域の浸水被害低減及び来襲後の港内静穏度確保のため、清水港外港地区、御前崎港女岩地区及び衣浦港外港地区において、防波堤の「粘り強い化」を推進します。**

- 官庁施設について、所要の耐震性能を満たしていない庁舎の耐震化や老朽化への対応を図るため、既存庁舎を集約し、大規模災害時に地域の防災拠点となる名古屋第4地方合同庁舎の整備を推進します。

②社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大

ポストコロナを見据え、ストック効果を重視した社会資本整備の戦略的かつ計画的な推進、グリーン社会の実現、生産性の向上や国際競争力の強化に取り組みます。

- 由比地区では、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、地すべり対策を推進します。



由比地区地すべり対策事業

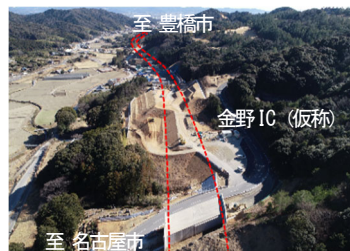
- 迅速かつ円滑な物流・人流を確保し、サプライチェーンの強靱化や物流の生産性向上、また民間需要が喚起され、沿線自治体の経済の好循環を促し、沿線地域の産業振興を支援する東海環状自動車道のR8年度までの全線開通を目指し整備を推進します。

- コロナ禍においても企業進出や新たな工業団地の開発等を進展し、道路と港湾の連携により地域産業の活性化に寄与している国道23号蒲郡バイパスのR6年度開通（名豊道路全線開通）を目指し整備を推進します。

- 物流交通と地域交通の混在を解消することで、速達性が向上し産業活性化を支援するとともに、渋滞緩和により地域交通の円滑化が図られ、安全で確実な物流を支援する国道1号浜松バイパス（長鶴～中田島）を新たに事業化します。



東海環状自動車道



蒲郡バイパス



浜松バイパス（長鶴～中田島）

③豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくり

豊かで活力ある地方を創るため、良好な環境や景観等を備えた、持続可能で賑わいのある地域、魅力ある地域づくりを促進します。

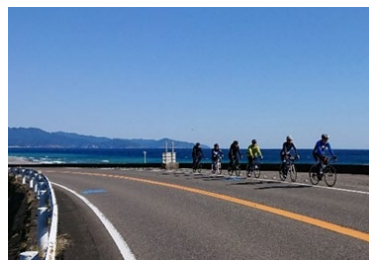
- 岐阜市忠節地区水辺整備（木曾川水系長良川）では、国と岐阜市が連携し砂礫河原広場や階段護岸等の整備に着手し、民間事業者が運営する鵜飼棧敷や水上座敷、朝市・夜市などと併せ、賑わいのある地域づくりを推進します。

■近鉄四日市駅における新たな交通結節点として、3箇所^{きんてつよっかいちえき}に分散している路線バス・高速バスの乗降場を集約し、歩行者の円滑な移動・乗換を支援する国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業を推進します。

■観光資源を有機的に連携するサイクルツーリズムの推進として、日本における新たな観光価値を創出し地域の創生を図るため、ナショナルサイクルルートに指定された太平洋岸自転車道の走行・受入環境の更なる充実を図るための整備を推進するとともに、都市部においても安全で快適な自転車利用環境の創出を推進します。



近鉄四日市駅前(中央通り)の状況
(国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業)



太平洋岸自転車道
国道42号(三重県御浜町)

■安全で安心な走行空間を確保するため、幹線道路の事故多発箇所において、『事故ゼロプラン』を推進するとともに、教育委員会、警察等と連携した通学路合同点検に基づく対策を速やかに実施し、通学路における交通安全を一層確保します。



【整備事例】車両から見た歩行者の見通しを改善

■ものづくり産業を支える物流機能や生産性の向上、国際競争力強化を図るため、清水港新興津地区、四日市港霞ヶ浦地区、名古屋港飛島ふ頭地区及び金城ふ頭地区の港湾機能の強化を推進します。



名古屋港ふ頭再編整備事業
(飛島ふ頭地区、金城ふ頭地区)



清水港新興津地区
国際物流ターミナル整備事業



四日市港霞ヶ浦地区
国際物流ターミナル整備事業

<中部地方整備局関係予算の配分額>

配分事業費	7, 4 4 3億円
内 訳	(歳出 : 直轄 2, 9 3 9億円 補助等 4, 5 0 4億円)
国庫債務負担行為(ゼロ国債)	
内 訳	(歳出 : 直轄 4 1 1億円 補助等 2 3億円)

(注)計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

2. 令和4年度中部地方整備局関係予算の配分額

(1) 事業別配分額【直轄】

(単位:百万円)

区 分	R4年度					R3年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	国庫債務負担行為(ゼロ国債)		本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
				平準化等	事業加速円滑化			
治 水	61,314	18,219	79,533	7,799	0	62,040	18,658	80,697
海 岸	3,041	0	3,041	270	0	3,829	0	3,829
道 路	123,209	66,160	189,369	32,672	260	129,439	61,423	190,862
港 湾	17,956	0	17,956	100	0	18,799	0	18,799
都市水環境 整 備	344	819	1,162	10	0	203	811	1,014
国営公園等	1,858	0	1,858	0	0	2,023	0	2,023
官庁営繕	0	980	980	0	0	0	816	816
合 計	207,721	86,178	293,899	40,851	260	216,333	81,707	298,040

(2) 事業別配分額【補助等】

(単位:百万円)

区 分	R4年度					R3年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	国庫債務負担行為(ゼロ国債)		本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
				平準化等	事業加速円滑化			
治 水	20,440	0	20,440	0	0	20,622	0	20,622
海 岸	1,784	44	1,828	0	0	1,068	0	1,068
道 路	84,595	0	84,595	1,210	0	82,915	0	82,915
港 湾	4,313	445	4,758	0	1,110	3,197	0	3,197
空港整備	313	0	313	0	0	432	0	432
住宅対策	0	6,219	6,219	0	0	0	13,741	13,741
市街地整備	20,960	0	20,960	0	0	26,680	0	26,680
下水道	8,410	6,141	14,552	0	0	8,443	3,378	11,821
国営公園等	2,242	0	2,242	0	0	0	0	0
社会資本整備 総合交付金	144,605	0	144,605	0	0	147,742	0	147,742
防災・安全 交 付 金	149,819	0	149,819	0	0	147,072	0	147,072
推進費等	77	0	77	0	0	101	0	101
合 計	437,559	12,849	450,409	1,210	1,110	438,271	17,119	455,390

(3) 補助事業等の県別配分額

(単位:百万円)

県	R4年度					R3年度		
	補助	交付金	計	国庫債務負担行為(ゼロ国債)		補助	交付金	計
				平準化等	事業加速円滑化			
岐阜県	24,480	38,123	62,603	0	0	33,079	40,367	73,446
静岡県	39,433	70,007	109,440	0	0	38,894	70,768	109,662
愛知県	71,461	137,223	208,684	800	1,110	68,039	137,207	205,247
三重県	20,610	49,072	69,682	410	0	20,564	46,471	67,035
合 計	155,985	294,424	450,409	1,210	1,110	160,577	294,813	455,390

(注1)数字は、事業費ベースです。

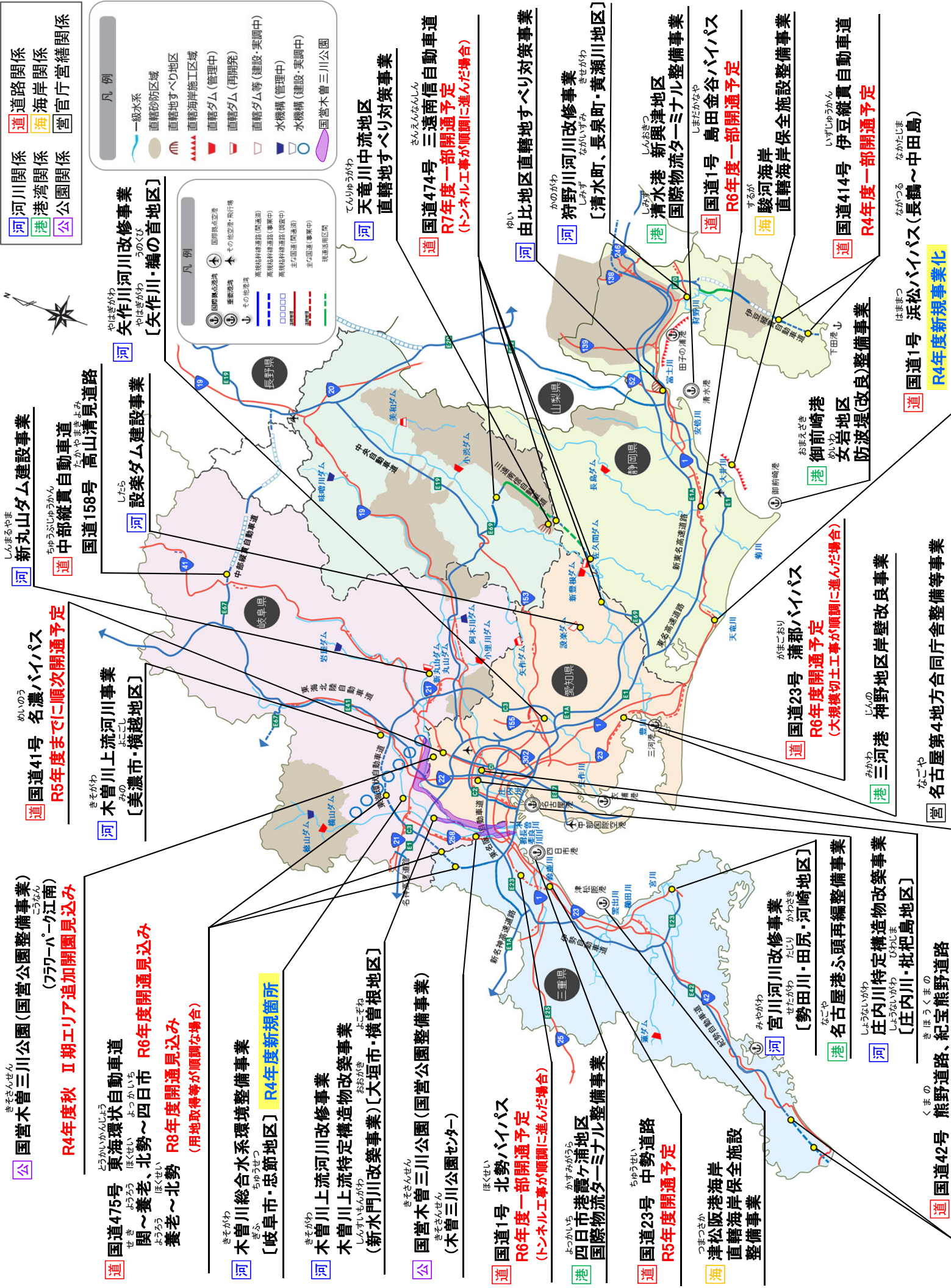
(注2)国庫債務負担行為(ゼロ国債)は、本省配分と一括配分の合計です。

(注3)計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

(注4)本省が全国的な観点から事業執行の判断を要するものは本省配分、中央省庁等改革基本法に基づき地方支分部局に配分権限を委任したものを一括配分としています。

(注5)当資料の次ページ以降に記載している完成予定、開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合があります。

(注6)国庫債務負担行為(ゼロ国債)の「平準化等」は公共工事等の実施の時期の平準化等を図るためのものをさし、「事業加速円滑化」は防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づく事業等について計画的かつ円滑な事業執行を図るためのものをさします。



岐阜県

個票一岐1

【事業主体:国】

きそがわ
木曾川上流河川事業
きそがわ よこぞね きそがわ
木曾川上流特定構造物改築事業[横曽根地区] (木曾川水系)

令和4年度当初:34.2億円

(岐阜県分:31.6億円、愛知県分2.6億円)

1. 事業の必要性及び概要

新・旧水門川排水機場が位置する牧田川左岸堤防は、計画堤防断面に対して現況堤防の断面及び高さが不足しています。また、そこに整備されている複数の排水機場は、老朽化が著しく、出水時に機能停止すれば、広範囲で浸水被害の発生が想定されます。そのため、排水機場の更新、堤防強化を実施し、治水安全度の向上を図ります。

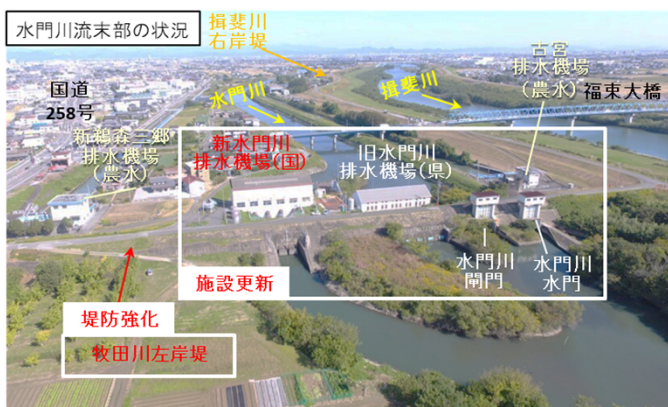
2. 事業箇所

おおがき
岐阜県大垣市

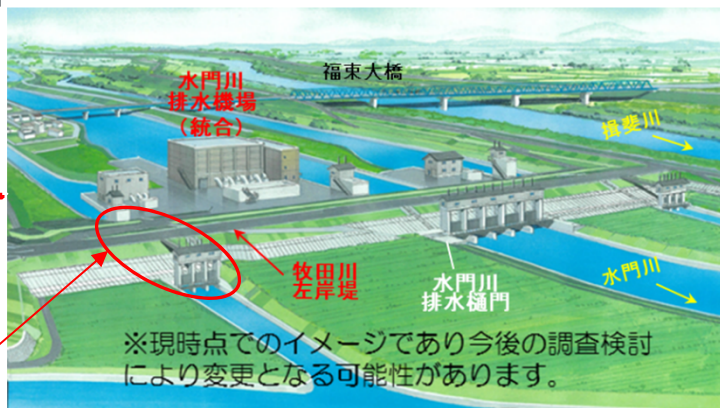


3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、用地取得を進めるとともに鵜森三郷排水樋門等の整備に着手します。(木曾川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場))



排水機場(統合案)イメージ図



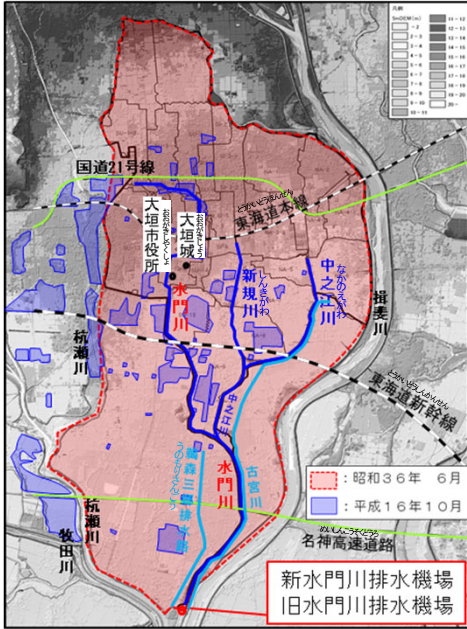
施設改築後
うのもりさんごう
鵜森三郷排水樋門
(令和4年度着手)

※現時点でのイメージであり今後の調査検討により変更となる可能性があります。

4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

- 昭和36年6月洪水をはじめ、近年(平成16年10月、平成25年9月)の洪水においても、水門川流域で大規模な浸水被害が発生しています。



出典:「岐阜県提供資料」

◆ 浸水実績図

(昭和36年6月洪水, 平成16年10月洪水)



出典:「一級河川木曾川水系 牧田川圏域河川整備計画(付属資料・治水計画編) 水門川治水計画、岐阜県」

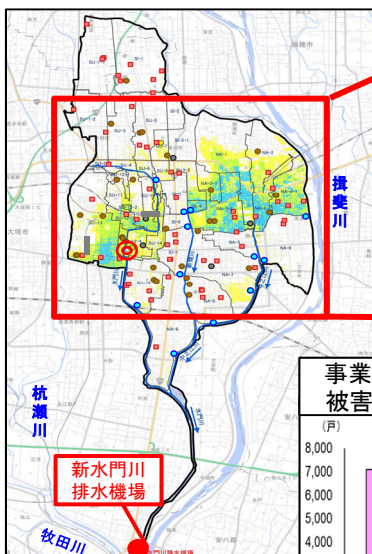
◆ 水門川(八島地区)の浸水状況(平成16年10月洪水)



◆ 牧田川、杭瀬川、揖斐川の出水状況(平成16年10月洪水)

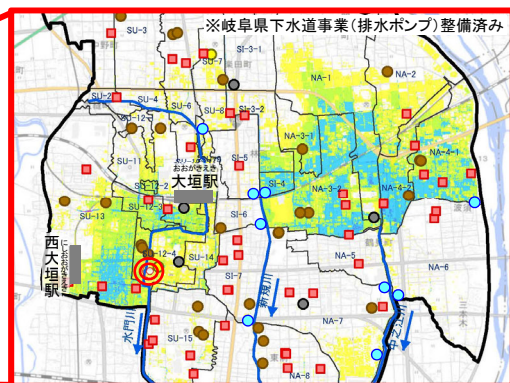
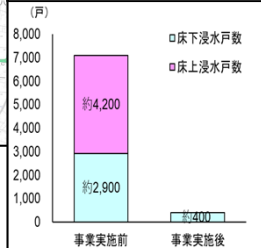
- 昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合、浸水世帯数約7,100世帯の被害が想定されます。
- 本事業により、昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合、浸水世帯数約400世帯に減少し、床上浸水被害が解消されます。

昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合に想定される浸水区域及び重要施設位置



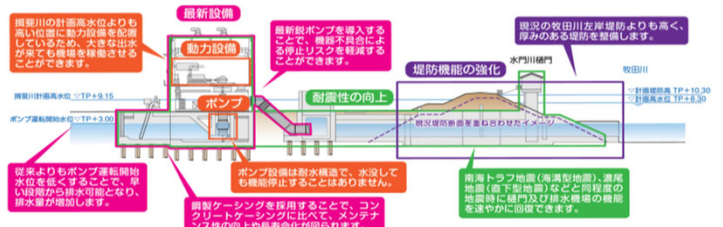
背景図出典: 国土地理院(淡色地図)

事業実施による浸水被害軽減効果グラフ



【対策】

- 1 最新鋭ポンプ導入による洪水初期の排水能力強化、機器停止リスクの軽減、長寿命化
- 2 動力設備のかさあげ、耐水構造の強化により、排水機場周辺が浸水しても機能停止しない
- 3 耐震性が向上(南海トラフ地震と同程度の地震発生時に樋門及び排水機場の機能を速やかに回復)
- 4 牧田川左岸堤防の整備(堤防の高さと厚みを十分に確保)



きそがわ よごし きそがわ
木曾川上流河川改修事業[横越地区] (木曾川水系)

令和4年度当初:34.2億円
(岐阜県分:31.6億円、愛知県分2.6億円)

1. 事業の必要性及び概要

ながらがわ

長良川において、戦後最大規模の洪水[平成16年(2004)10月洪水]を安全に流下させるため、長良川遊水地事業に着手し、治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

みの
岐阜県美濃市



3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

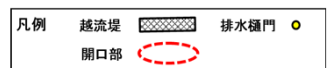
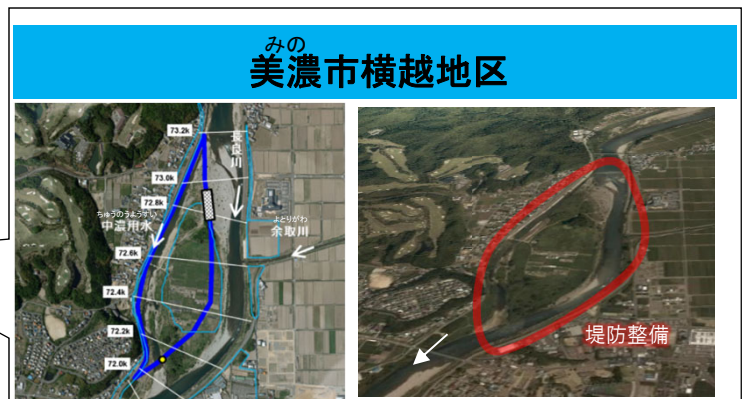
よごし

いけじり

横越地区の堤防整備に着手するとともに池尻地区の調査検討を進めます。
(長良川遊水地事業)



遊水地整備箇所



4. 整備効果

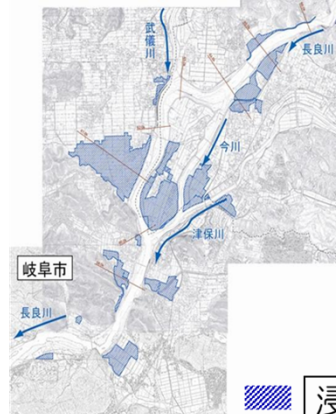
重点: ①国民の安全・安心の確保

- 平成16年10月洪水で広範囲の浸水被害が発生しました。
- 平成20年7月に東海北陸自動車道が全線開通するなど、長良川中流部での開発が進むとともに、背後資産および人口についても近年増加傾向にある一方、水害を軽減する自然遊水機能が減少しています。
- 長良川において、戦後最大規模の洪水〔平成16年(2004)10月洪水〕を安全に流下させるため、美濃市横越地区、関市池尻地区において、洪水調節として遊水地を整備します。

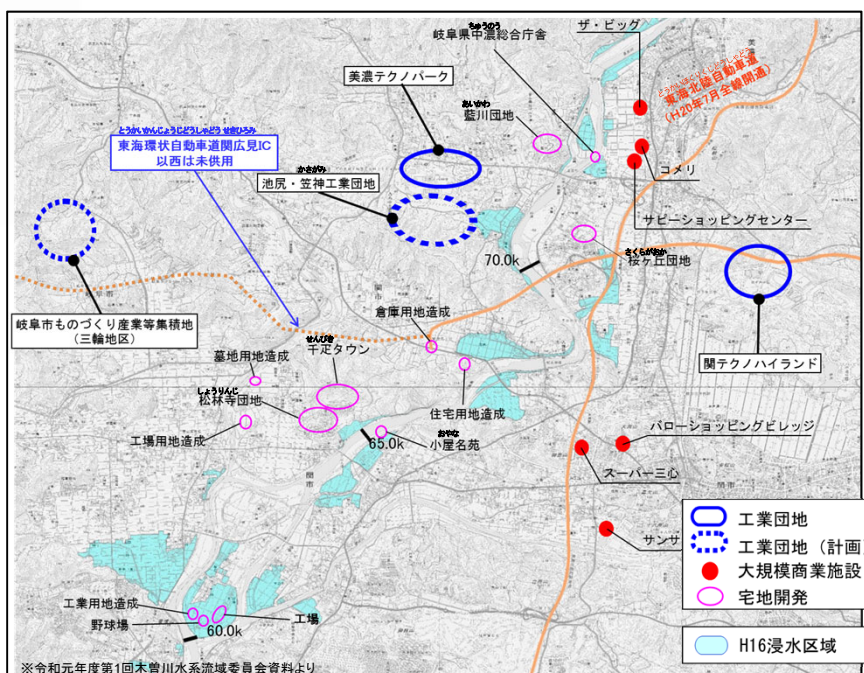
平成16年10月洪水（指定区間）

被害状況(直轄管理区間上流端～板取川合流点)

浸水面積: 461ha
被災家屋: 床上浸水218戸
床下浸水142戸
半壊家屋 8戸



浸水区域



きそがわ きふ ちゅうせつ
木曾川総合水系環境整備事業[岐阜市・忠節水辺整備事業]
(木曾川水系)

令和4年度当初:1.0億円

1. 事業の必要性及び概要

木曾川水系長良川の中流部に位置する岐阜市では、豊かな自然や歴史的・文化的な資源などを活かし、これまで右岸側において、国と岐阜市が連携し、遊歩道や親水護岸等の整備により、水辺空間のにぎわい創出を実施してきました。

一方、左岸側では、岐阜市が歴史的風情を湛える町家が連なる町並みや、岐阜らしい趣ある建築物により形成される歴史的町並み景観を保全、創出してきました。

引き続き、左岸側においても国と岐阜市が連携し、令和3年3月19日に登録された「^{ながら}ぎふ長良川^{がわ}鶴飼かわまちづくり計画」に基づき、砂礫河原広場や階段護岸等を整備し、周遊性を向上させることにより、左右岸一体となった更なるにぎわいの創出を目指します。

2. 事業箇所

岐阜県岐阜市

位置図



3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

令和4年度より新規着手(基盤整備等)します。

■ 整備イメージ

〔 〕: かわまち対象エリア



4. 整備効果

重点:③豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくり

まちと水辺が一体となった魅力ある空間の創出

- 河川敷や水辺が安全に利用できるようになることから、親水空間として多くの方の利用が期待される。
- 長良川鵜飼地区全体の周遊性を高めることで、鵜飼の鑑賞や夕涼みに訪れる観光客、住民の憩いの場としての更なる活用が期待される。

現在 now



長良川右岸
(プロムナード)の現況



長良川左岸の現況

■整備内容



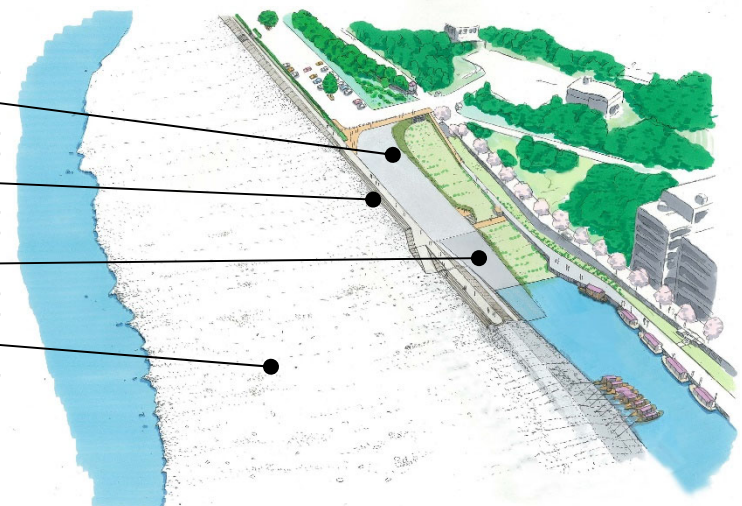
整備内容は、一部変更となる場合があります

長良川鵜飼地区の右岸側では、既に鵜飼い見学のための護岸整備やプロムナードなどが整備されており、鵜飼の鑑賞や夕涼みに訪れる観光客、住民で賑わっているが、左岸側は水面近くへのアクセスがしづらく、水辺空間が十分活用されていない。

国と市が連携を図り、賑わいのある水辺空間を創出

将来 future

- 基盤整備(平場整正) (国)
- 階段護岸・スロープ (国)
- 観覧船陸揚用坂路整備 (市)
- 河道掘削・砂礫河原広場 (国)



水辺空間の活用イメージ(整備後)

しんまるやま
新丸山ダム建設事業

令和4年度当初:111.0億円

1. 事業の必要性及び概要

木曾川は我が国有数の大河川であり、流域には約235万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤となっています。一方、下流部は、我が国最大のゼロメートル地帯であり、ひとたび災害等が発生した場合には、被害は甚大となります。

そのため、本事業では既設丸山ダムの堤体を嵩上げし、洪水調節機能を強化することにより、木曾川中下流部の洪水氾濫から人々の暮らしを守るとともに、流水の正常な機能の維持及び発電を行います。

2. 事業箇所

右岸:岐阜県加茂郡八百津町
左岸:岐阜県可児郡御高町
(木曾川水系木曾川)



3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、ダム本体工事及び付替道路工事等を推進します。



新丸山ダム完成予想図

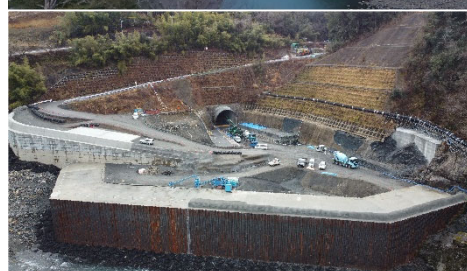


転流工呑口部施工状況

新丸山ダム本体付近施工状況



付替道路418号(潮見地区)



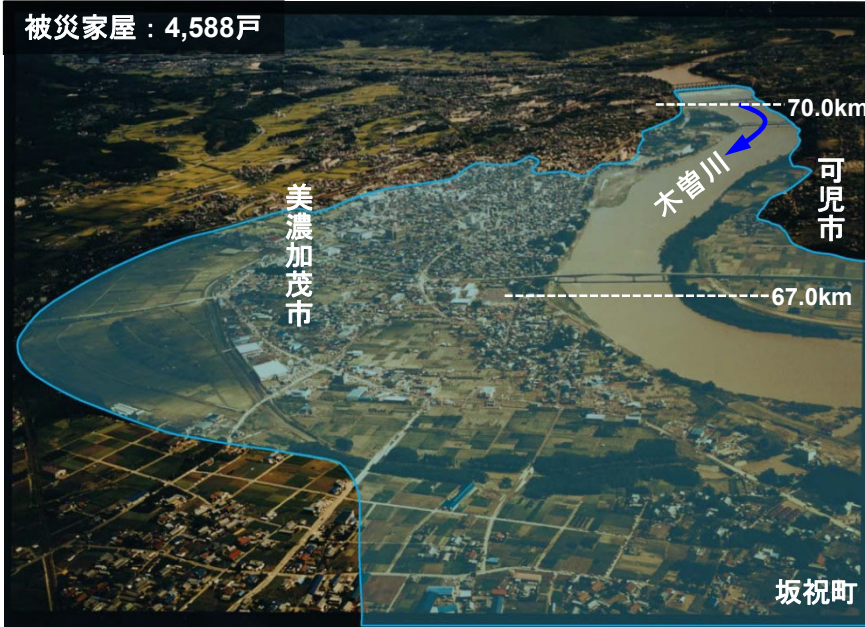
転流工吐口部施工状況

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

昭和58年9月の台風10号及び秋雨前線による戦後最大洪水が越水したことにより、美濃加茂市及び坂祝町、可児市などで甚大な被害が発生。新丸山ダムの整備と合わせ河川改修することにより、同規模の洪水を安全に流下させることが可能となります。

被災家屋：4,588戸



昭和58年9月洪水での浸水範囲



写真1:軒下まで浸水した家屋

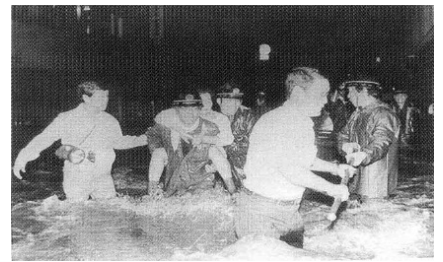


写真2:消防団員により救出される被災者

付替道路により八百津町市街地～恵那市飯地地区間の移動時間の大幅な短縮となります。

県道篠原八百津線・県道恵那八百津線経由：約75分

付替国道418号(丸山バイパス)経由：約35分

また、社会インフラを活用した地域振興の取組として、付替道路事業として建設した「新旅足橋」で八百津町が必要な許可を受け、運営会社がバンジー・ジャンプ開始しています。



とうかいかんじょう
国道475号 東海環状自動車道
ちゅうぶじゅうかん たかやまきよみ
国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路

令和4年度当初【東海環状自動車道】：347.5億円
 [岐阜県分：267.4億円]
 【高山清見道路】：35.3億円

1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした中京圏の環状道路を形成する延長約153kmの高規格道路です。
- 高山清見道路は、高速アクセス性の向上（観光の周遊性向上）や並行する国道158号の交通渋滞の緩和、救急医療活動の支援等を目的に計画された延長24.7kmの高規格道路です。



2. 事業箇所

- 東海環状自動車道：愛知県豊田市 ~ 三重県四日市市
- 高山清見道路：岐阜県高山市清見町 ~ 高山市丹生川町

3. 令和4年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ 東海環状自動車道

【関～養老（延長44.2km）】 【養老～北勢（延長18.0km うち岐阜県9.0km）】

- 山県IC～大野神戸IC間（延長18.5km）の橋梁工事、トンネル工事等を推進。
 《令和6年度開通見込み※1》
 ※1：財投活用による整備加速箇所※2
- ※2：このほかに、土岐JCT～美濃加茂IC間の速度低下箇所に付加車線を設置

- 養老IC～北勢IC(仮称)間（延長18.0km）の改良工事、橋梁工事等を推進。（岐阜県）
 《令和8年度開通見込み※3》
 ※3：用地取得等が順調な場合

■ 高山清見道路（延長24.7km）

- 高山IC～丹生川IC(仮称)間（延長9.5km）の橋梁工事、トンネル工事等を推進。



令和6年度開通に向け工事が進む
 東海環状自動車道 岐阜IC付近

令和8年度開通に向け工事が進む
 東海環状自動車道 海津PA付近

中部縦貫自動車道
 高山清見道路 町方高架橋付近

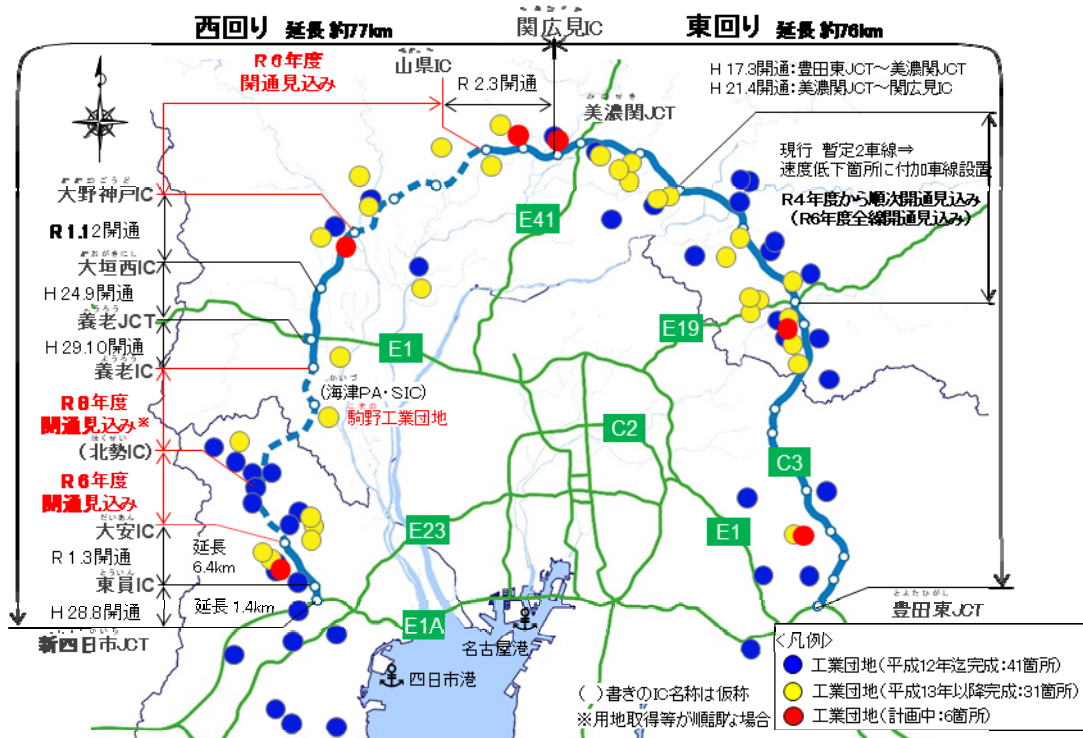
4. 整備効果

重点：②社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大

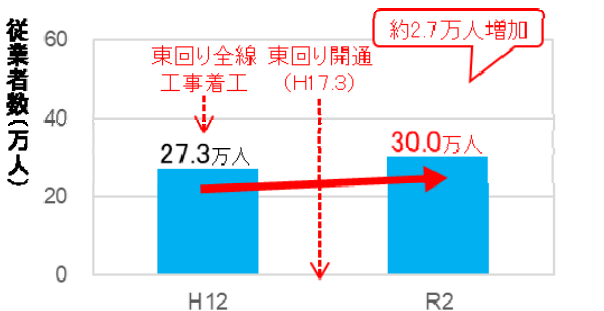
民需誘発！沿線自治体の経済の好循環を促し、沿線地域の産業振興を支援！

- ▶ 東海環状自動車道の整備進展に伴い、沿線地域の民間需要を喚起し、沿線地域の従業者数は**約2.7万人増加**、製造品出荷額等は**約1.6倍増加**。
- ▶ 沿線地域の工業団地数は**約1.8倍増加**。西回り沿線の**駒野工業団地**では**コロナ禍においても分譲が進む**。

■東海環状自動車道沿線に分布する工業団地



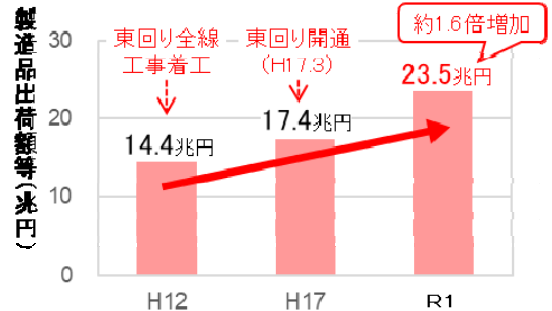
■沿線市町の製造業従業者数の変化



・沿線自治体:東海環状自動車道が通過する市町(東回り:8市4町、西回り:7市4町)

出典:経済産業省「工業統計」

■沿線市町の製造品出荷額等の推移



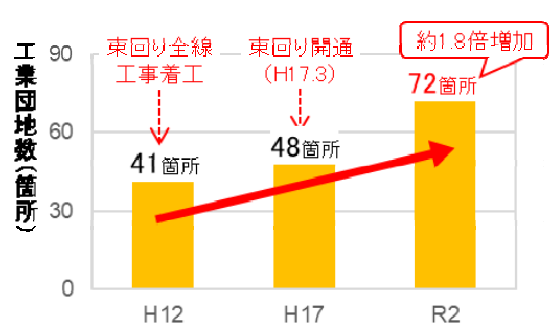
・沿線自治体:東海環状自動車道が通過する市町(東回り:8市4町、西回り:7市4町)

出典:経済産業省「工業統計」

■コロナ禍においても分譲が進む駒野工業団地



■沿線市町の工業団地数の推移



・沿線自治体:東海環状自動車道が通過する市町(東回り:8市4町、西回り:7市4町)

出典:自治体調査結果(R3.6)

きそさんせん
国営木曾三川公園（国営公園整備事業）

令和4年度当初 : 6.0億円
(岐阜県分: 3.9億円、愛知県分: 1.9億円、三重県分: 0.2億円)

1. 事業の必要性及び概要

本公園は、東海地方の広域的レクリエーション需要に対応するため、木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）が有する広大なオープンスペースを活用して設置した国営公園です。

昭和55年度から事業着手し、昭和62年10月に木曾三川公園センターを一部供用開始して以来、平成27年度には部分開園を含む13拠点の全てを開園し、令和3年1月に、桑名七里の渡し公園の住吉地区を追加供用することにより、住吉地区が全面供用となるなど順次整備エリアを拡げ、令和4年3月31日現在、開園面積は約290haとなっています。令和2年度には年間約670万人に来園いただきました。今後、未供用区域の整備を進め追加供用することにより、さらなる利用促進を図ります。

令和4年度は、フラワーパーク江南の植栽、園路広場整備等により**令和4年度秋の開園**を目指すとともに、木曾三川公園センターの再整備や桑名七里の渡し公園等において検討を推進します。



2. 事業箇所

岐阜県海津市海津町、愛知県江南市小杣町、三重県桑名市三之丸 等

3. 令和4年度事業予定内容

- ・木曾三川公園センター 管理施設再整備
- ・フラワーパーク江南 植栽整備、園路広場整備
- ・桑名七里の渡し公園 管理運営検討 等

国営木曾三川公園の主な整備箇所

桜堤サブセンター

河川環境楽園（木曾川公園）

かさだ広場・各務原アウトドアフィールド

木曾三川公園センター（岐阜県海津市）

138タワーパーク

管理施設再整備

ワイルドネイチャープラザ

アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道

長良川サービスセンター

令和4年度秋 II期エリア追加供用見込み

フラワーパーク江南（愛知県江南市）

I期エリア

II期エリア

植栽整備
園路広場整備

東海広場・鶴戸川

船頭平河川公園

カルチャービレッジ

桑名七里の渡し公園（三重県桑名市）

管理運営検討

4. 整備効果

自然環境や歴史・文化への理解の深化

- 河川ならではの自然環境に配慮した公園整備を行う事で広域的な水と緑のエコロジカルネットワーク形成に貢献
- 水辺に囲まれた公園の立地条件を生かした環境教育プログラムなどを実施し、訪れる人に対しての木曾三川の自然環境・歴史文化の理解の深化に貢献



希少種オニバスについて学ぶ
環境教育講座
(アクアワールド水郷パークセンター)



身近にある石について親子で学ぶ
石ころクラブ
(河川環境楽園)



市民団体による砂丘保全活動
(ワイルドネイチャープラザ)

地域活性化と観光振興

- 木曾三川公園の新たなエリアの開園に向けた整備推進や施設の再整備により公園の魅力が向上し、入園者数の増加による公園周辺への波及効果
- 地域と連携したイベントの実施により地域の観光振興や賑わいの創出に、また、公園ボランティアの参画を進める事で、地域コミュニティの活性化にも貢献



チューリップ祭
オープニングイベント
(木曾三川公園センター)



公園ボランティアによる除草活動
(河川環境楽園)



Hana マルシェ
(フラワーパーク江南)

地域における防災・減災の寄与

- 沿川自治体の地域防災計画における広域避難地・一次避難地としての活用や当該避難地における防災訓練など、地域の防災・減災機能強化に貢献



防災関連イベント
(138タワーパーク)



公園を利用した防災訓練
(東海広場)



関係機関と連携した防災展の実施
(カルチャービレッジ)

狩野川河川改修事業[黄瀬川地区] (狩野川水系)

令和4年度当初:11.3億円

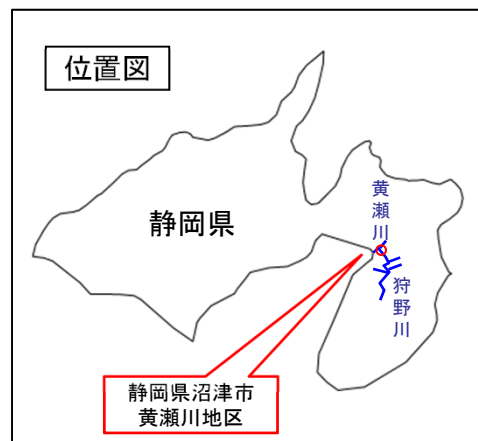
1. 事業の必要性及び概要

沼津市、清水町、長泉町等を通る狩野川水系黄瀬川における黄瀬川地区は、堤防高さが不足し、早急な整備が必要な区間です。

平成27年9月関東・東北豪雨を受け策定された「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取り組みの一環として、早期に治水安全度の向上を図るため、河道掘削や堤防整備を平成28年度より進めてきました。

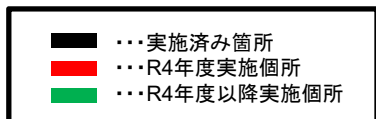
2. 事業箇所

静岡県沼津市



3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、堤防整備を実施します。(黄瀬川洪水氾濫防止事業)



4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

- 令和3年7月豪雨では、本宿地点において既往最大の1,200m³/sに迫る約1,000m³/s(速報値)を記録しました。
- 近年の河道拡幅(黄瀬川橋)【H17~H25】や河道掘削【H30~R2】等を実施したことにより水位を約1m低減させ氾濫を回避し、浸水被害(想定被害額約110億円)の発生を防止できたと想定されます。

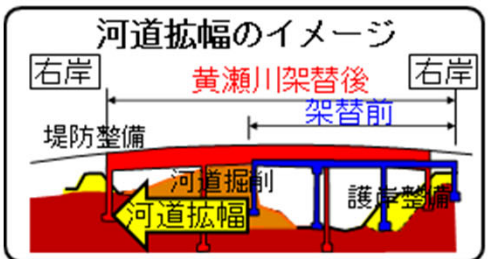
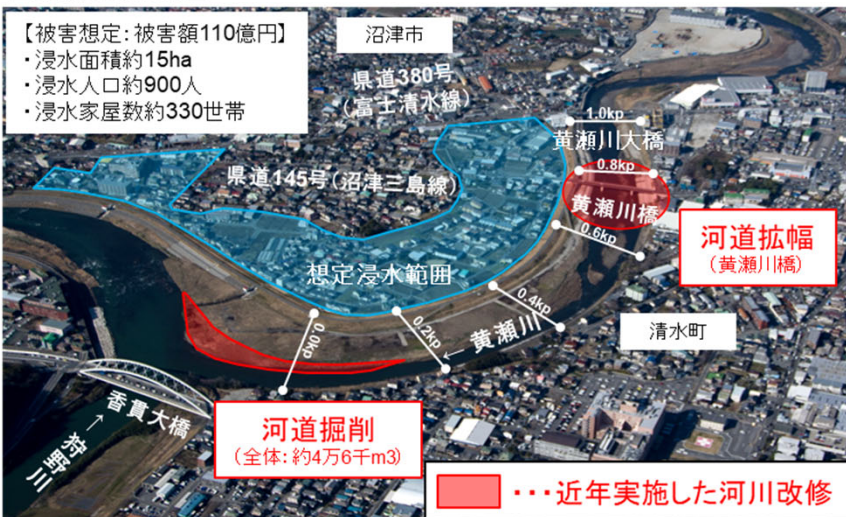
■位置図



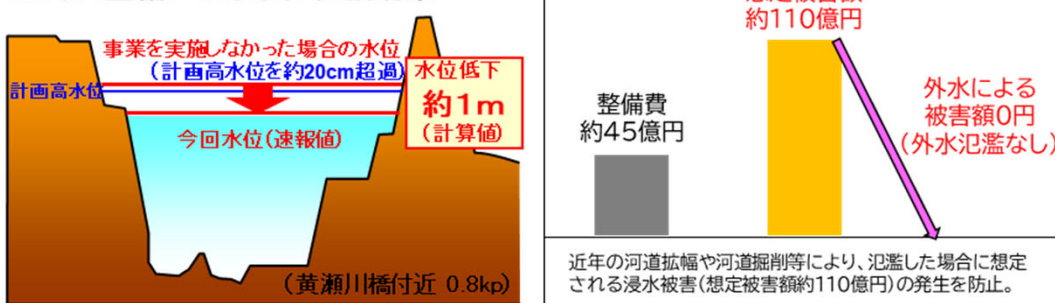
■出水状況



■想定浸水範囲



■河川整備による水位低減効果



- 令和4年度の堤防整備により令和3年7月豪雨において被災した黄瀬川大橋の区間を残し黄瀬川地区における堤防整備を完了させ洪水を安全に流すことを目指します。
- 黄瀬川大橋の区間においても引き続き、関係機関と協力し対策を実施してまいります。

ゆい
由比地区直轄地すべり対策事業

令和4年度当初:19.7億円

1. 事業の必要性及び概要

由比地区には日本の大動脈(東名高速道路、国道1号、JR東海道本線)が集中しており、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、地すべり対策を推進します。



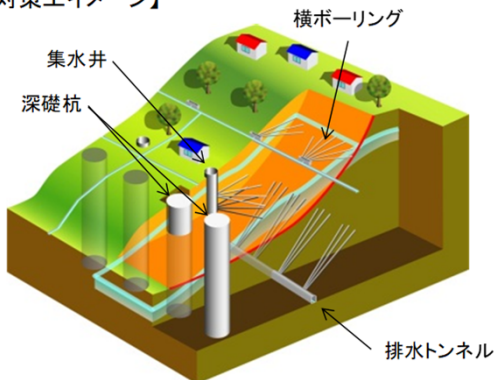
2. 事業箇所

しみずく ゆい にしくらさわ
静岡県静岡市清水区由比西倉沢

3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

しんそ
引き続き、深礎工、集水ボーリング工を実施します。

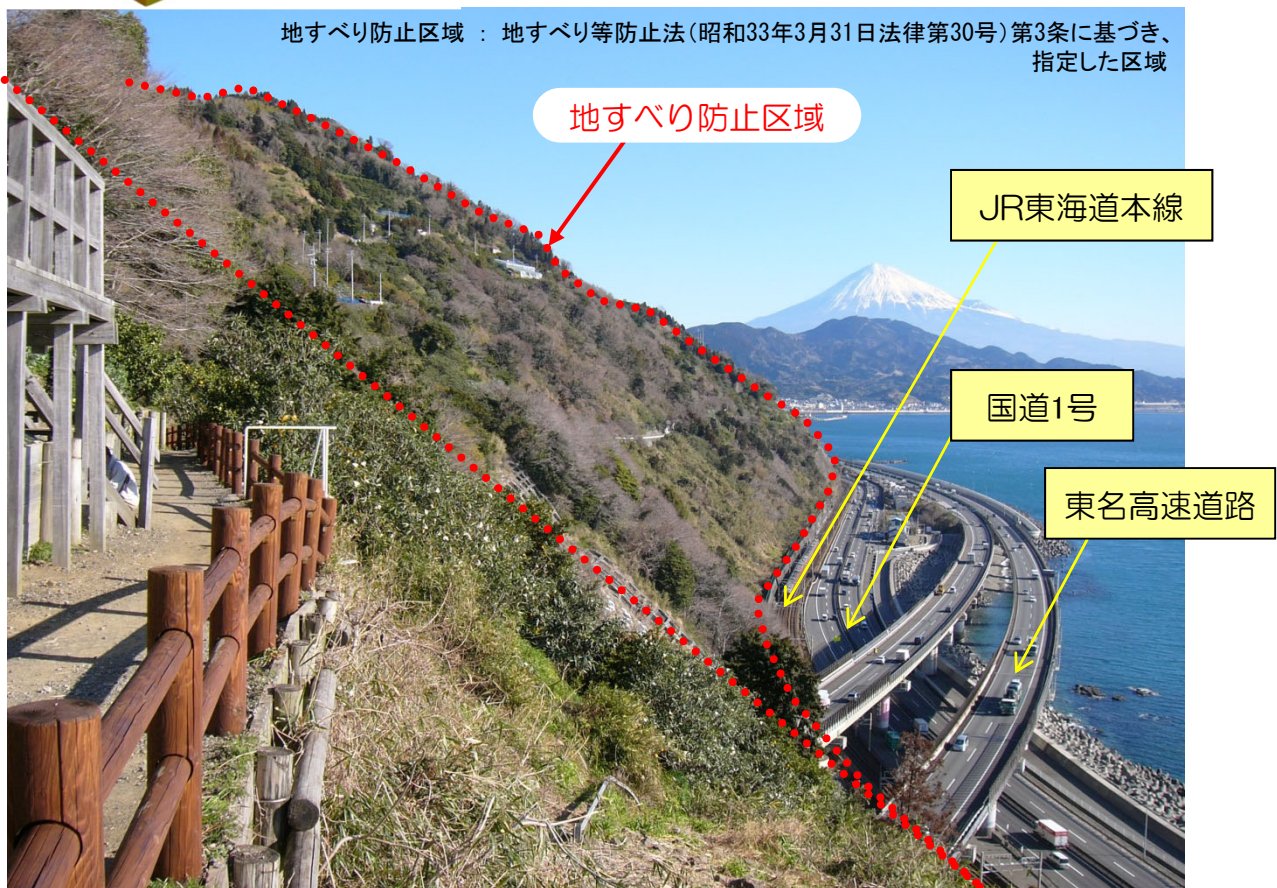
【対策イメージ】



深礎工



集水ボーリング工



地すべり防止区域：地すべり等防止法(昭和33年3月31日法律第30号)第3条に基づき、指定した区域

地すべり防止区域

JR東海道本線

国道1号

東名高速道路

4. 整備効果

重点: ②社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大

■ 由比地区において想定される被害

- ・由比地区地すべりの直接想定被害は、地すべり崩落土砂により重要交通網が埋没することです。
- ・国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の重要交通網の長期間途絶により、地域はもとより、日本経済全体への影響が懸念されます。
- ・地すべり崩落により、多数の人命が失われる可能性があります。

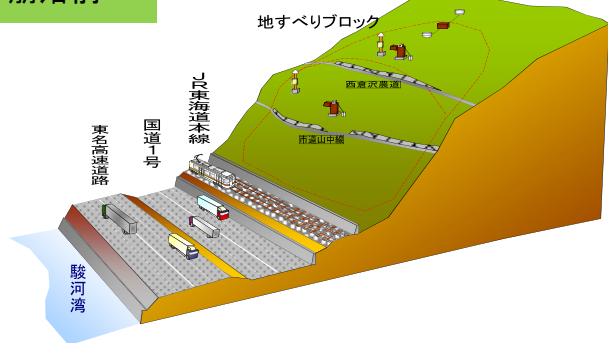


重要交通網(国道1号、JR東海道本線(旅客、貨物))

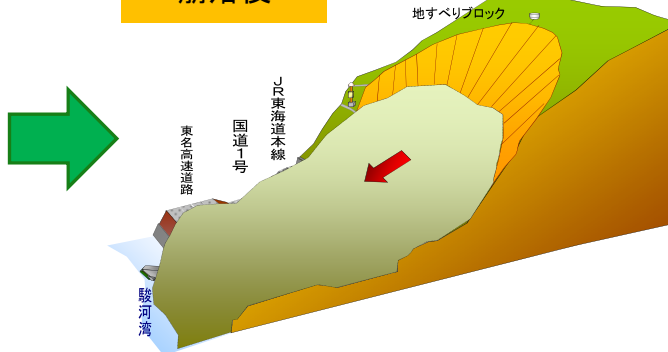
■ 重要交通網の交通量

交通種別	H27
国道1号 平均交通量	約60,000台/日
東名高速道路 平均交通量	約42,000台/日
JR東海道本線 旅客列車運行本数	上下150本/日

崩落前

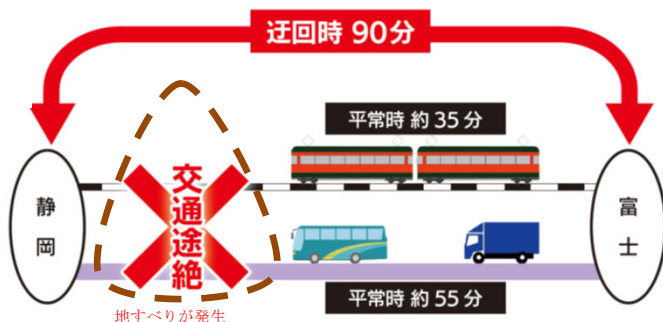


崩落後



■ 災害発生時の影響

地すべりが発生すると、東名高速道路、国道1号、JR東海道本線が途絶し、迂回ルートに車両が集中するため、交通渋滞が発生し移動時間が増大します。



■ 事業効果

日本経済全体への影響が懸念される重要交通網である国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の交通が確保されます。

地すべりの発生を防止することにより、多数の人命が失われることを防止します。

するが
駿河海岸 直轄海岸保全施設整備事業

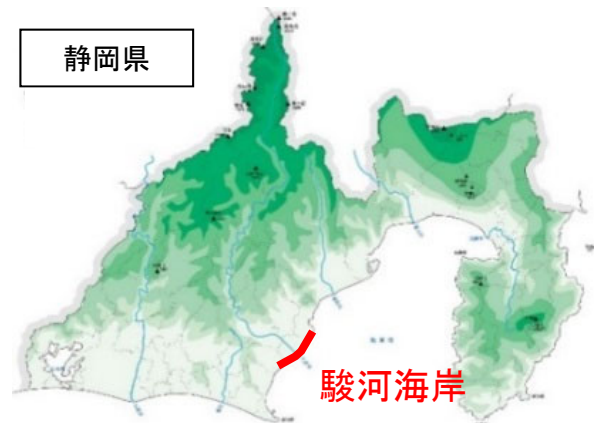
令和4年度当初:10.9億円

1. 事業の必要性及び概要

駿河海岸は、切迫する南海トラフ巨大地震による最大クラスの津波の第1波が地震発生後に最短2～4分で到達するため、避難に可能な時間が極めて短い地域です。
このため、最大クラスの津波が堤防を乗り越えた場合でも、浸水被害の軽減と避難までの時間を稼ぐ減災機能を発揮する“粘り強い構造の海岸堤防”の整備を実施し、早期に地域の安全性向上を図ります。

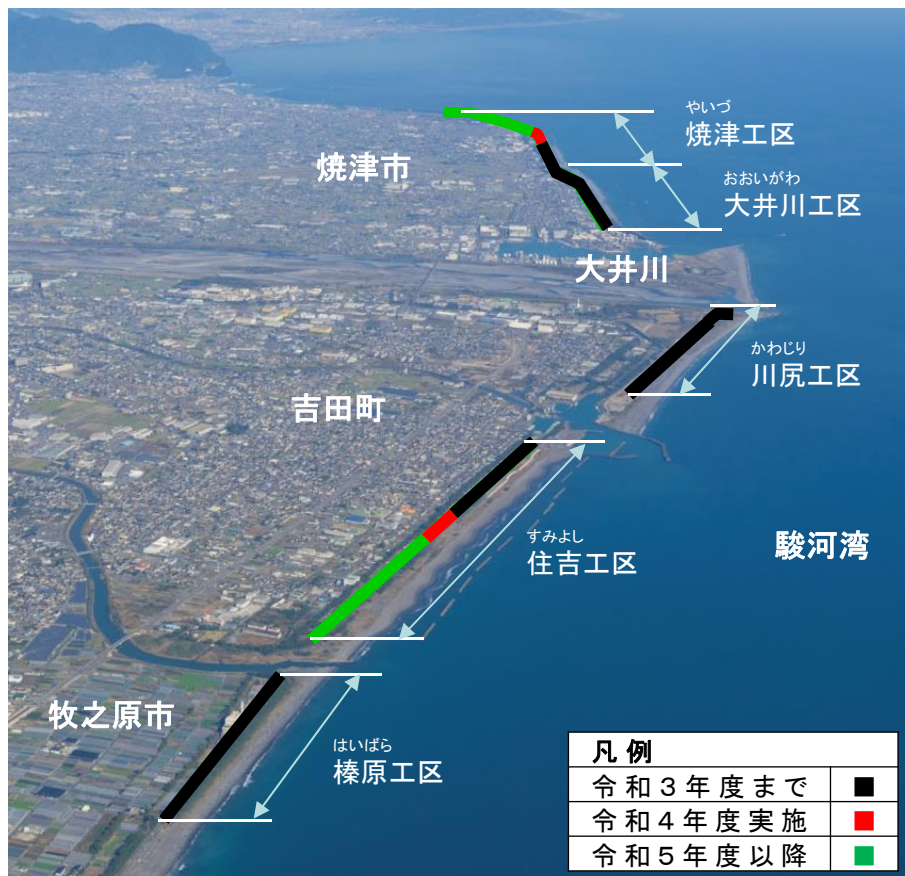
2. 事業箇所

静岡県焼津市、吉田町

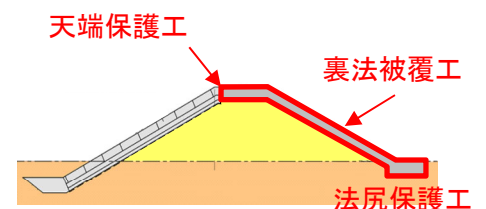


3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

粘り強い構造の海岸堤防の整備を推進します。



粘り強い構造の海岸堤防(焼津市)



粘り強い構造の海岸堤防
構造イメージ図

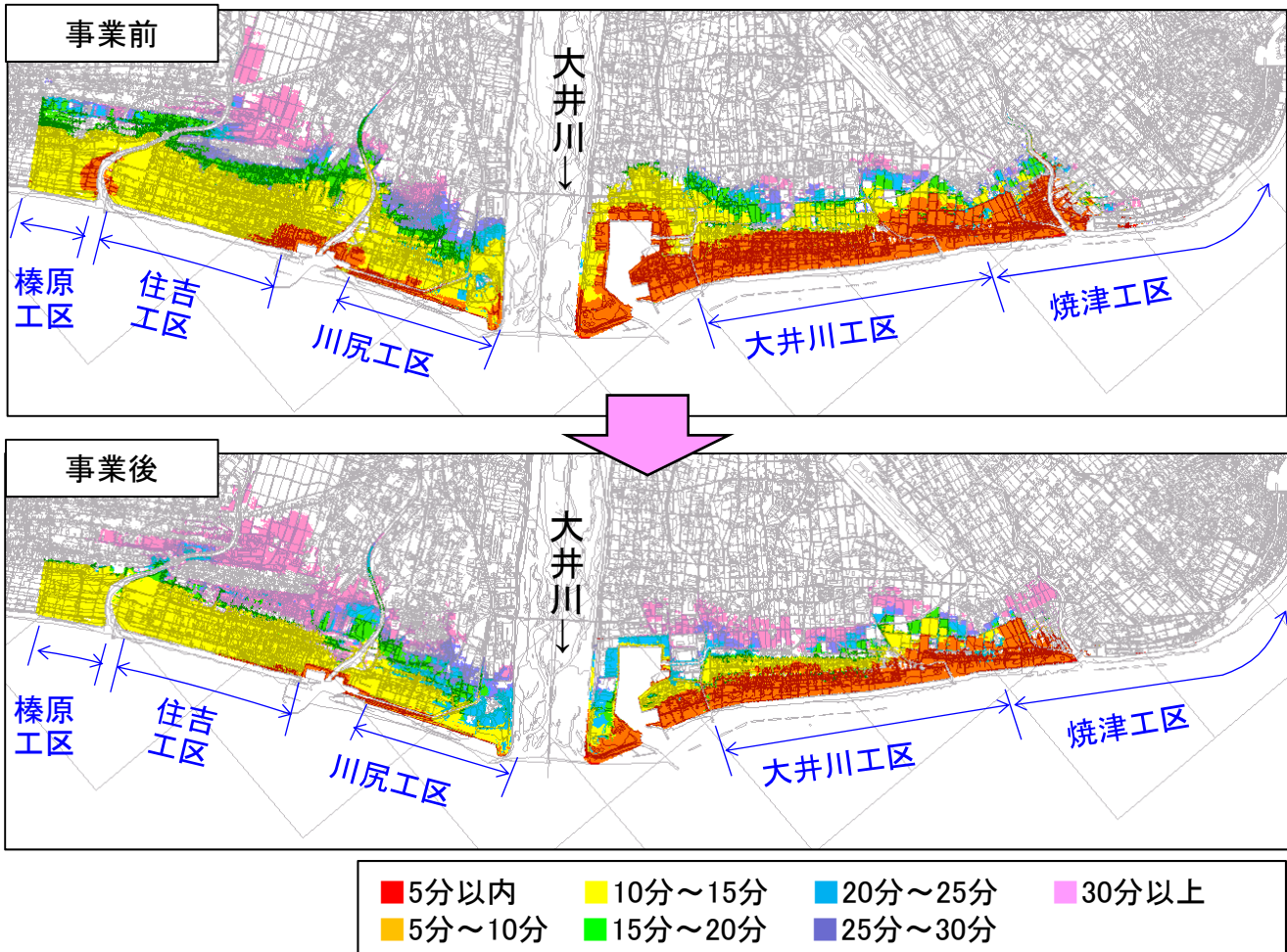
4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

駿河海岸における南海トラフ巨大地震の津波による想定被害者数(想定死者数)※は約5,000人と想定されますが、粘り強い構造の海岸堤防を整備することにより、想定被害者数を約5割低減することができます。

※想定死者数は、津波浸水域における滞留者のうち津波が到達する時間(浸水深30cm以上となる)までに浸水区域外、高台や高層階、津波避難施設等への避難が完了できなかったものを津波に巻き込まれたものとして、死亡か負傷かを判定

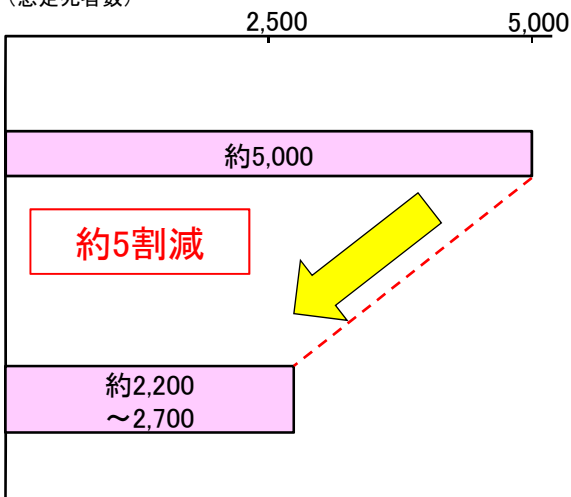
■津波到達時間分布図(浸水深30cm)



※被害想定は、津波シミュレーションを用いて焼津工区～榛原工区間のみ被害軽減効果を試算
 ※粘り強い構造の海岸堤防整備により避難時間をさらに3～5分確保できると仮定

■想定被害者数(人)

(想定死者数)



“粘り強い構造の海岸堤防”により、最大クラスの津波が堤防を越流した場合でも、堤防の効果が粘り強く発揮し、破堤に至るまでの時間を遅らせることで、浸水被害の軽減や避難のためのリードタイムを長くする効果等が期待されます。

国道1号 国道414号 ^{い ず じゅうかん} 伊豆縦貫自動車道
 国道474号 ^{さんえんなんしん} 三遠南信自動車道
 国道1号 ^{はままつ} 浜松バイパス ^{ながつる なかたじま} (長鶴～中田島)

令和4年度当初【伊豆縦貫自動車道】： 82.9億円
 【三遠南信自動車道】： 156.0億円
 【静岡県分】： 35.7億円
 【浜松バイパス（長鶴～中田島）】： 0.5億円

1. 事業の必要性及び概要

- 伊豆縦貫自動車道は、伊豆半島部を高速ネットワークで結ぶことにより、観光の活性化などを目的に計画された延長約 60km の高規格道路です。
- 三遠南信自動車道は、中央道、新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約 100km の高規格道路です。
- 国道1号浜松バイパスは、浜松環状道路の一部を構成し、立体化及び平面6車線化することで、渋滞を緩和し、地域交通の円滑化、産業活性化の支援を目的に計画された道路です。

2. 事業箇所

- 伊豆縦貫自動車道：静岡県沼津市 ～ 静岡県下田市
- 三遠南信自動車道：長野県飯田市 ～ 静岡県浜松市
- 国道1号浜松バイパス（長鶴～中田島）：静岡県浜松市



3. 令和4年度事業予定内容及び現在の実施状況

- 伊豆縦貫自動車道 【東駿河湾環状道路（延長 15.0km）】
 【河津下田道路（Ⅱ期）（延長 6.8km）】 【河津下田道路（Ⅰ期）（延長 5.7km）】
 - 河津IC(仮称)～下田IC(仮称)間(延長 12.5km)の改良工事、橋梁工事等を推進。
 《令和4年度一部開通予定》
- 三遠南信自動車道 【佐久間道路・三遠道路（延長 27.9km うち静岡県 13.4km）】
 【水窪佐久間道路（延長 14.4km）】 【青崩峠道路（延長 5.9km うち静岡県 2.6km）】
 - 水窪IC(仮称)～佐久間川合IC間(延長 14.4km)の調査設計等を推進。
 - 小嵐IC(仮称)～水窪北IC(仮称)間(延長 5.9km)の改良工事、トンネル工事等を推進。
- 国道1号浜松バイパス(長鶴～中田島)（延長 6.4km）
 - 調査設計を推進。《令和4年度新規事業化》



令和4年度一部開通に向け工事が進む
河津下田道路(Ⅱ期) 河津IC(仮称)付近



トンネル工事状況(静岡側)
青崩峠道路



R4 新規事業化
浜松バイパス(長鶴～中田島)

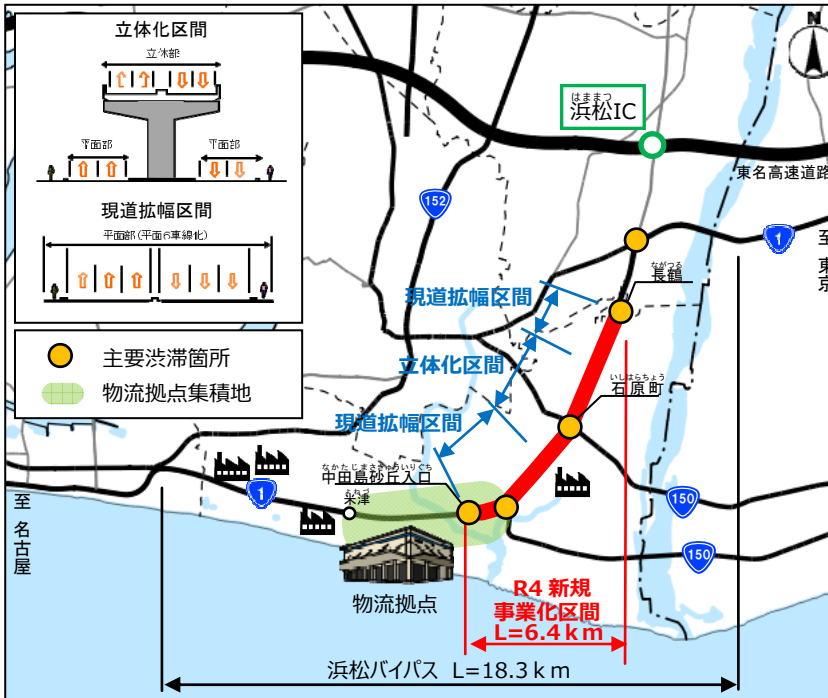
4. 整備効果

重点：②社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大

渋滞緩和による交通状況改善

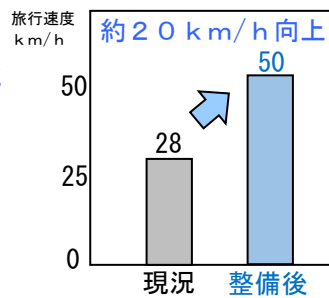
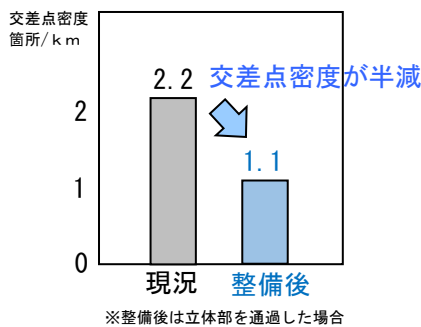
- 国道1号浜松バイパス(長鶴～中田島)は、交通容量の超過及び信号交差点の連坦により、旅行速度が低下し、渋滞が発生。これにより物流の速達性にも課題。
- 立体化及び現道拡幅により、平均旅行速度が約20km/h向上し、地域交通の円滑化に貢献。
- 浜松市南部の物流拠点から浜松 IC までの所要時間が約6分短縮され、物流の速達性及び定時性の向上に貢献。

■ 浜松バイパス沿線の状況



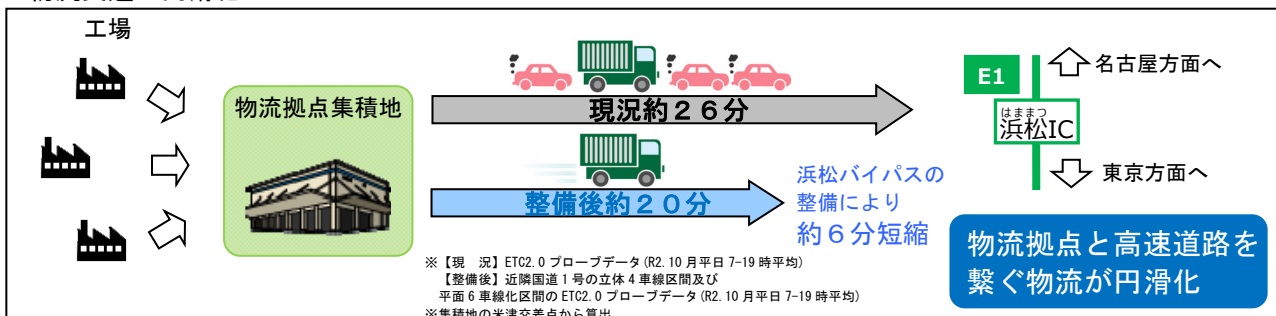
■ 渋滞の緩和による地域交通の円滑化

〈信号交差点の状況〉



信号交差点による速度減少が解消され、地域交通が円滑化

■ 物流交通の円滑化



しみず しんおきつ
清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業

1. 事業の必要性及び概要

令和4年度当初：8.7億円

多くの製紙工場が背後に立地する清水港は、原材料であるパルプの輸入拠点となっており、パルプの輸入量が増加しています。また、背後圏のコンテナ貨物の取扱拠点となっており、特に東南アジア貨物が増加し、船舶が大型化しています。

一方、大型船が利用できる岸壁が限られており、非効率な輸送を強いられていることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

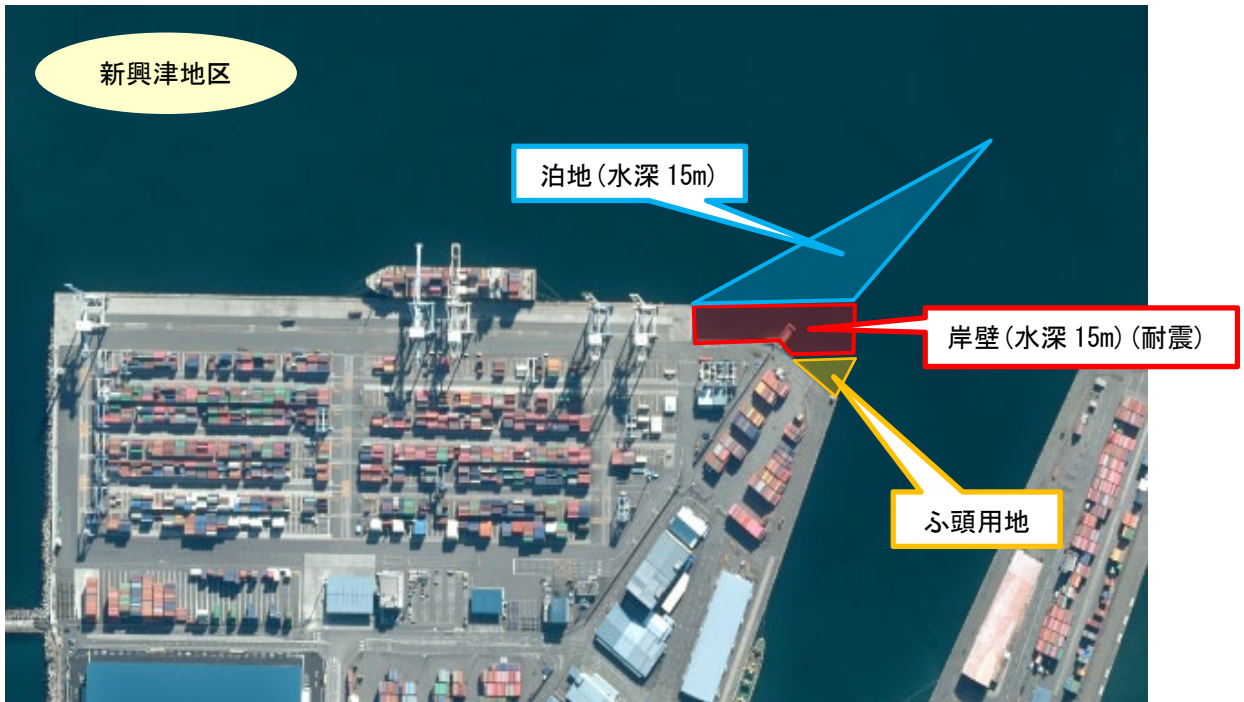
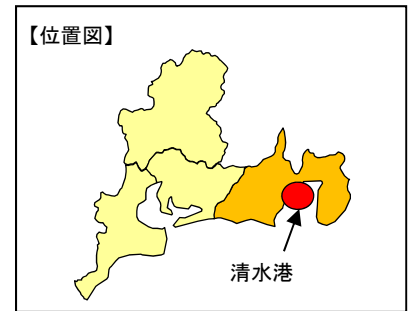
このため、新興津地区において国際物流ターミナルの整備を行います。

2. 事業箇所

静岡県静岡市

3. 令和4年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、耐震強化岸壁の整備を実施します。



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

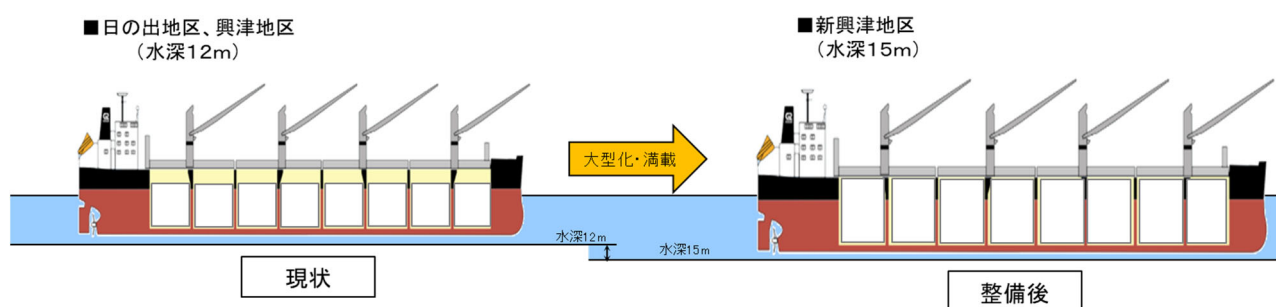
<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

重点：③豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくり

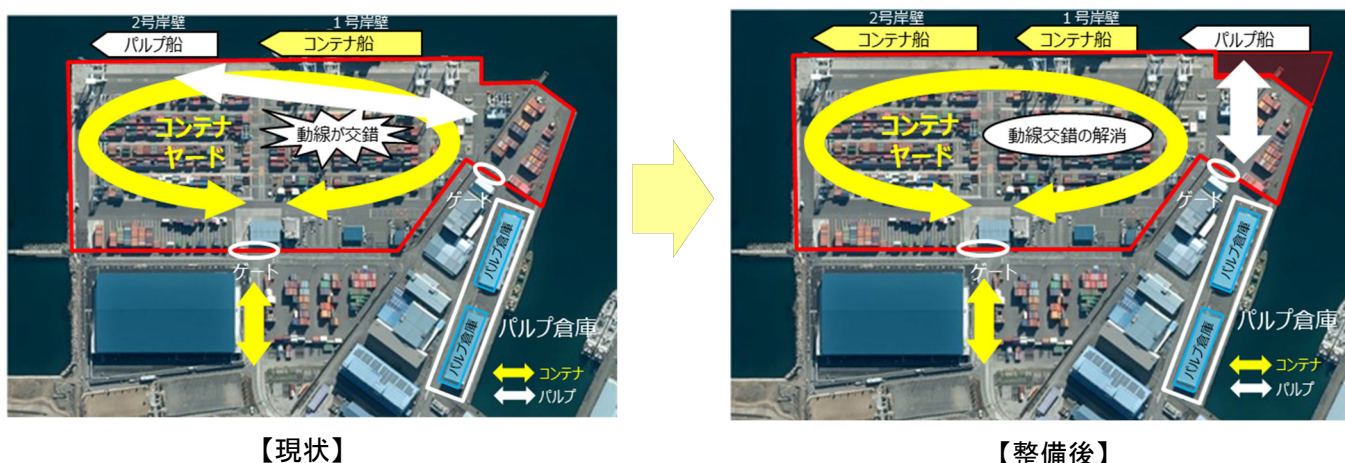
<海上輸送効率化への対応>

大型パルプ船による原産国から清水港への一括大量輸送、清水港を拠点とした全国へのトランシップ（積替）輸送による物流効率化が可能となり、静岡県の基幹産業である製紙産業の国際競争力の強化、地域経済の活性化を図ります。また、コンテナ貨物の増加、コンテナ船の大型化にも対応可能となります。



<ターミナルの安全性の向上>

整備した岸壁にパルプ船が着岸することで、コンテナ荷役とパルプ荷役の動線の交錯が緩和され、安全かつ効率的な荷役が可能となります。



おまえざき めいわ
御前崎港女岩地区防波堤(改良)整備事業

1. 事業の必要性及び概要

令和4年度当初：1.8億円

防波堤は、地震発生時の堤体沈下に伴う港内静穏度低下により岸壁荷役作業に支障をきたす恐れがあります。また、津波来襲時の防波堤倒壊により背後地域への浸水被害が拡大する恐れがあることから、災害対応力の向上が必要となっています。

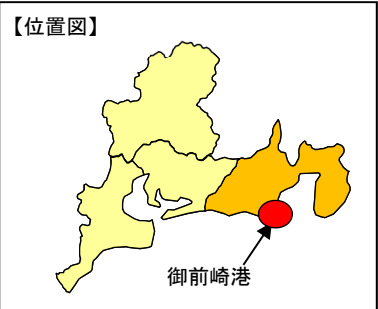
このため、女岩地区防波堤（東）において防波堤の改良を行います。

2. 事業箇所

静岡県御前崎市

3. 令和4年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、防波堤の粘り強い構造への改良を実施します。

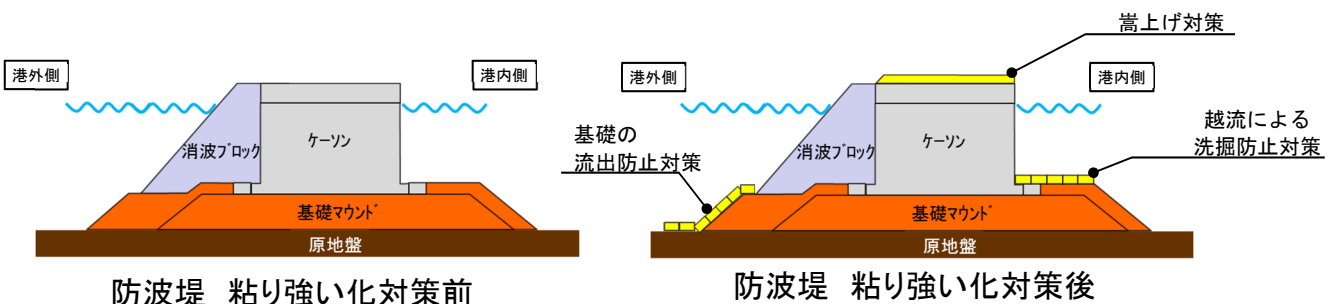


4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

<防波堤の粘り強い化>

嵩上げによる沈下対策、港外側基礎の流出防止対策、越流による洗掘防止対策による粘り強い化により、津波来襲後においても港内静穏度を確保するとともに、津波来襲時における背後地域での浸水被害の低減を図ります。



やはぎがわ どあい やはぎがわ
矢作川河川改修事業[渡合地区] (矢作川水系)

令和4年度当初:12.6億円

1. 事業の必要性及び概要

とよた りゅうぐうばし うのくび
豊田市街地を流れる矢作川は、竜宮橋下流に鵜の首と呼ばれる狭窄部があり、
とうかい けいなん ごう
平成12年の東海(惠南)豪雨では、狭窄部上流部において氾濫が発生しました。
我が国有数のものづくり拠点を氾濫被害から守るため、河道掘削等を実施し、
治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

とよた
愛知県豊田市



3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

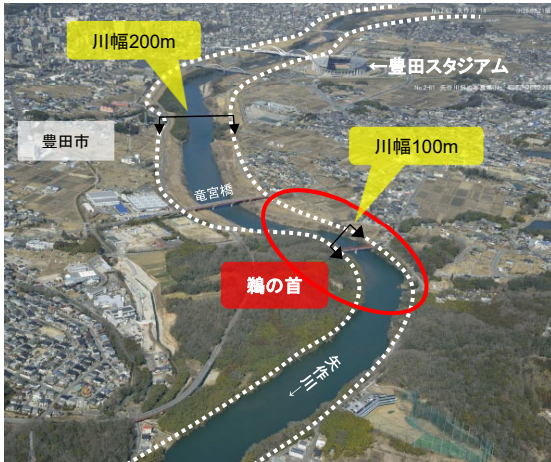
やはぎがわ うのくび
引き続き、河道掘削を実施します。(矢作川鵜の首地区水位低下対策事業)



4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

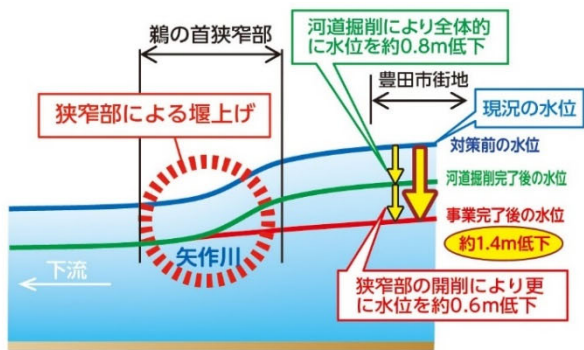
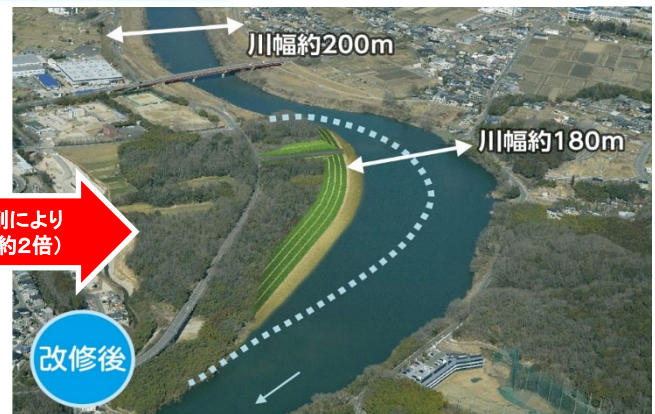
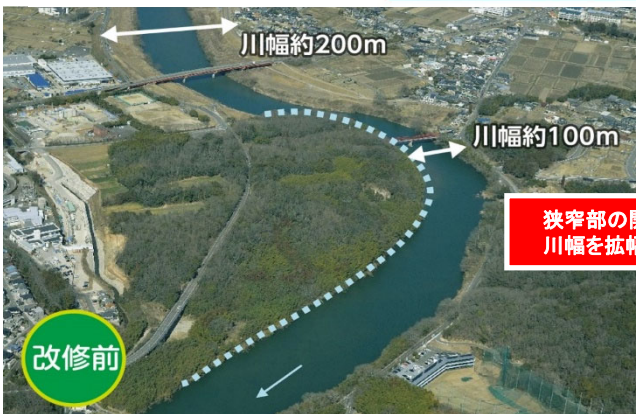
- 平成12年の東海豪雨(恵南豪雨)では、鵜の首狭窄部の影響もあり、上流の豊田市街地で大規模な浸水被害が発生しました。
(矢作川水系:被災家屋 約2,800棟、水害区域面積 約1,800ha)



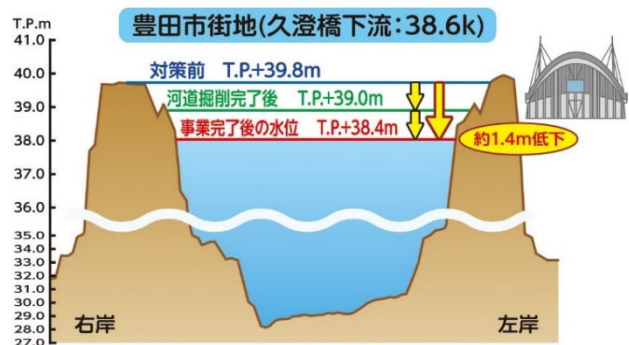
平成12年9月「東海豪雨(恵南豪雨)」の被害状況(豊田市森地区) ……………

- 狭窄部の河床掘削、狭窄部開削を実施することで、上流の豊田市街地(久澄橋下流:38.6k)で東海豪雨(恵南豪雨)において水位が約1.4m低下します。
- これにより、豊田市街地(鵜の首地区上流部区間)において東海豪雨(恵南豪雨)の被害が解消されます。

鵜の首狭窄部の整備イメージ



対策効果のイメージ(河川水位の縦断面図) ……………



対策による水位低下効果(横断面図) ……………

しょうないがわ
庄内川河川改修事業
しょうないがわ
庄内川特定構造物改築事業[枇杷島地区] (庄内川水系)

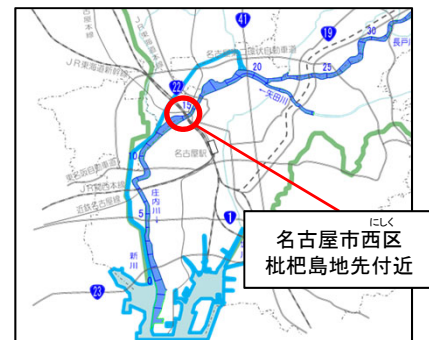
令和4年度当初:17.9億円
(岐阜県分:2.4億円、愛知県分15.5億円)

1. 事業の必要性及び概要

名古屋市枇杷島地区は、狭窄部であるとともに県道枇杷島橋を始め、桁下高が低く、橋脚の間隔が狭い橋梁が横架しており、洪水の流下に大きな支障きたしていることから、氾濫した場合には、広範囲の浸水被害が予想されます。
このため、枇杷島地区3橋梁の架替や築堤等を実施し、治水安全度の向上を図ります。

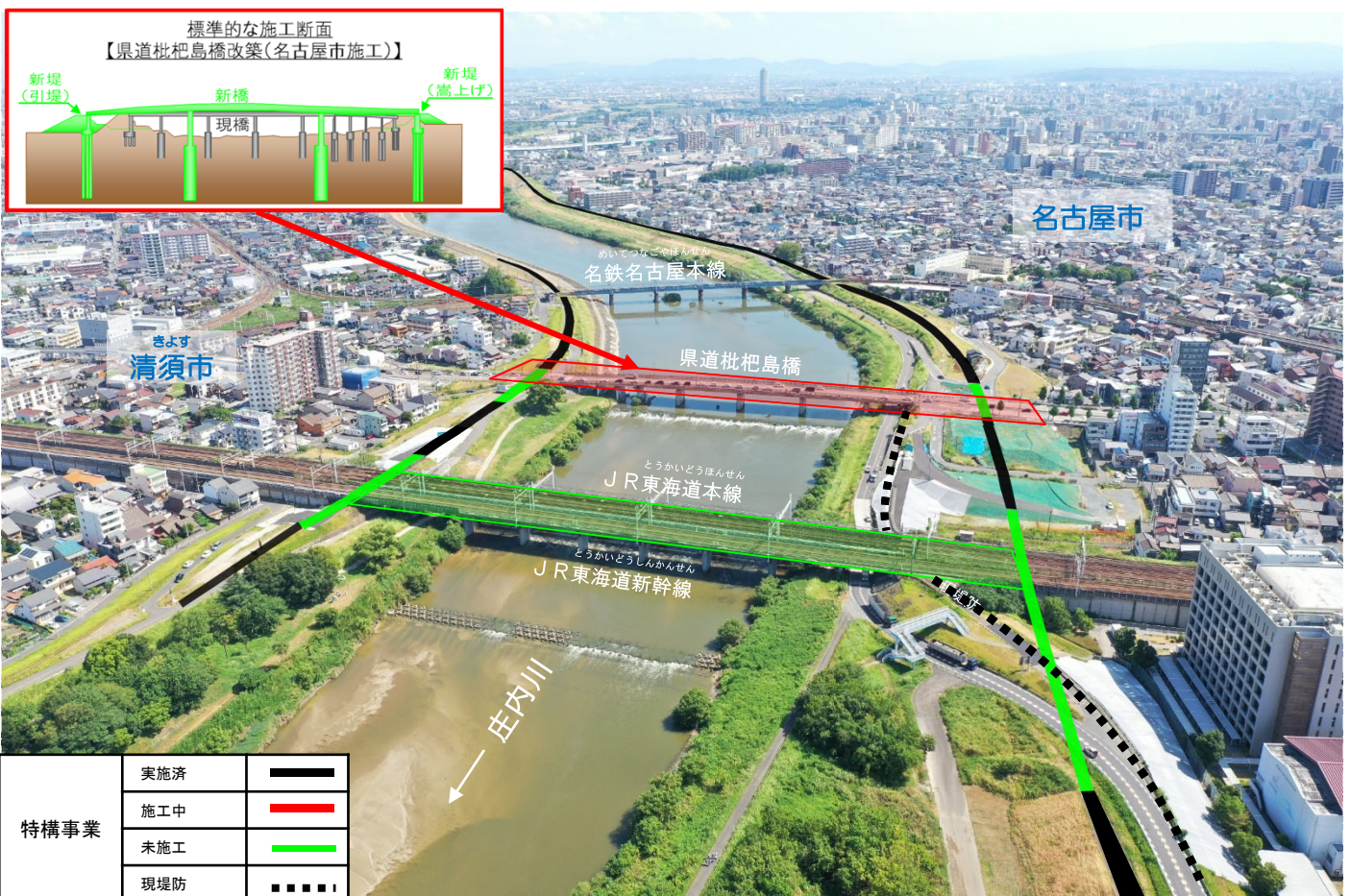
2. 事業箇所

愛知県名古屋市



3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、県道枇杷島橋の架替を実施します。(庄内川特定構造物改築事業)



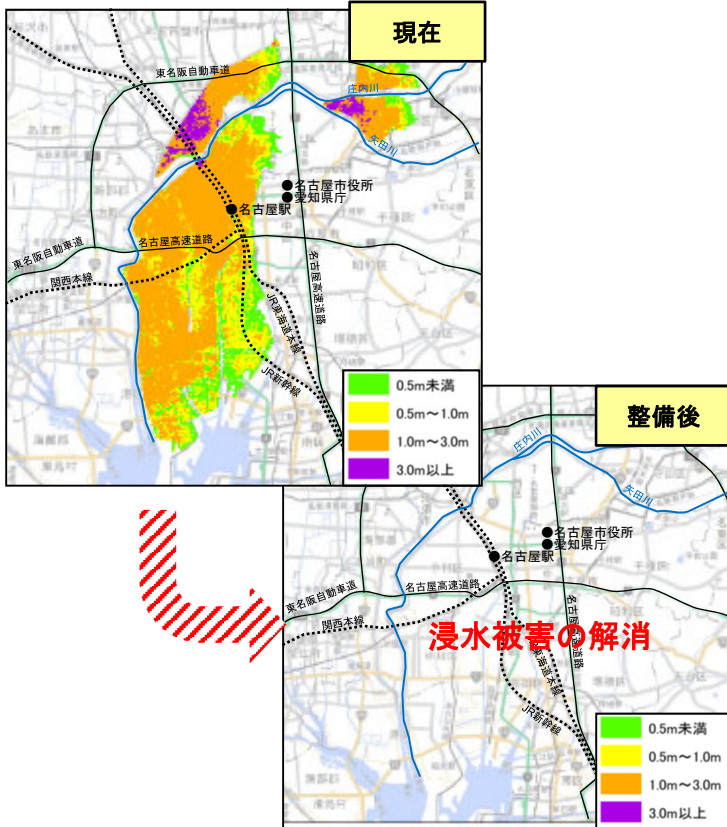
4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

平成12年9月11日～12日に東海地方に甚大な被害を発生させた東海豪雨では、派川である新川の堤防が決壊したのをはじめ、名古屋市内でも広範囲に浸水被害が発生しました。県道枇杷島橋では、洪水が橋桁に衝突するなど、危険な状況でした。

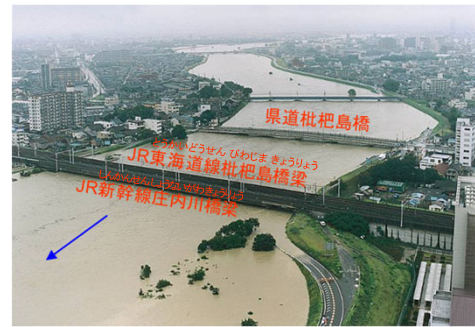
本事業を含む整備計画を完了させることで、中下流域(愛知県区間)は、東海豪雨を安全に流下させることが可能となります。

とうかいごう



河川整備計画目標流量による浸水想定

平成12年9月東海豪雨の状況



橋梁の橋げた付近まで水位が上昇(枇杷島地区)



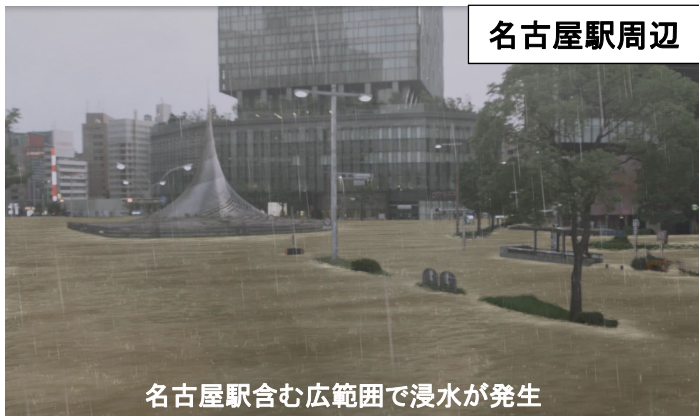
名古屋市区あし原町地先で新川堤防が決壊



新川の堤防決壊による清須市の浸水状況

庄内川が決壊した場合には？

- 河川整備計画の目標規模の大雨が降ったことにより想定される氾濫被害は、**浸水面積約9,000ha、浸水人口約66万人、浸水家屋数約30万世帯**に及びます。
- 更に、枇杷島狭窄部に架かるJR東海道新幹線及びJR東海道本線は、東京・名古屋・大阪の3大都市圏を結ぶ日本の大動脈であり、洪水により流失等の被害が発生すれば、日本経済に与える打撃は深刻なものとなります。



名古屋駅含む広範囲で浸水が発生



地下街にも大量の水が流入

庄内川が決壊した場合の名古屋駅周辺の浸水シミュレーション

したら
設楽ダム建設事業

令和4年度当初:151.9億円

1. 事業の必要性及び概要

豊川流域には約59万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤を築いてきました。一方、洪水時には、堤防決壊による氾濫等により人家や農作物等に多大な被害をもたらし、渇水時には、度々取水制限や水道用水の減圧給水が行われ、農作物の発育不良などの被害が生じています。

そのため、本事業では設楽ダムを建設することにより、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水の供給を行います。

2. 事業箇所

愛知県北設楽郡設楽町(豊川水系豊川)



3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、ダム本体及び関連工事・付替道路工事等を推進します。



設楽ダム完成予想図



工事用道路(廃棄岩骨材運搬路等)



本体工事(基礎掘削)



付替県道設楽根羽線(1号橋~1号トンネル)

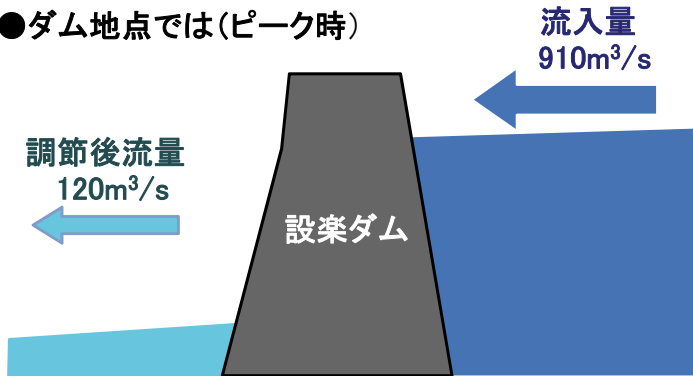
4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

設楽ダムを建設することにより、戦後最大の洪水量を記録した昭和44年8月洪水（年超過確率1/30規模）に対して、基準地点である石田の流量を約550m³/s減らすことにより、河川の水位を約0.6m下げることが可能となります。

設楽ダムと下流の河道改修の効果をあわせて、浸水被害を軽減します。

●ダム地点では（ピーク時）

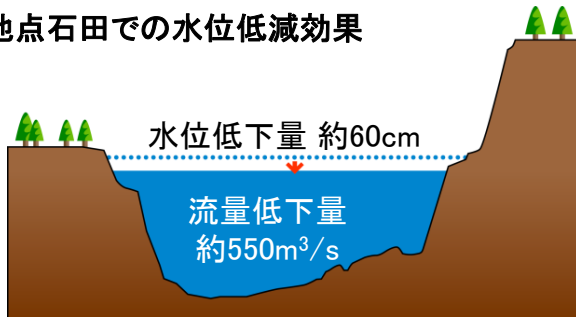


ダム地点で、最大約790m³/sの洪水調節



昭和44年8月（旧一宮町江島）

●基準地点石田での水位低減効果



下流の基準地点の石田では、約550m³/sの流量を低減（約60cm水位を下げる）

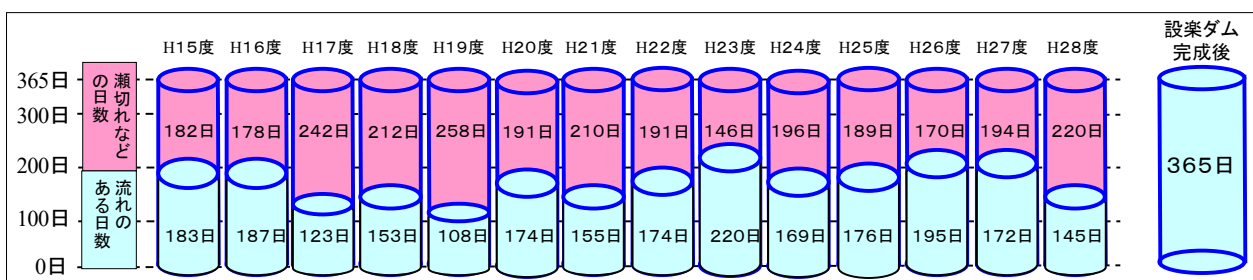
設楽ダムを建設することにより、10年に1回発生する規模の渇水において、河川流量を増加させ、河川環境を保全するとともに、既得用水の取水の安定化を図ります。



（平成16年4月26日 0.0m³/s）大野頭首工下流



（平成16年4月29日 1.3m³/s）大野頭首工下流



出典：水資源機構

国道474号	<small>さんえんなんしん</small> 三遠南信自動車道
国道23号	<small>がまごおり</small> 蒲郡バイパス
国道41号	<small>めいのう</small> 名濃バイパス

令和4年度当初

【三遠南信自動車道】	： 156.0億円
〔愛知県分〕	： 55.0億円
【蒲郡バイパス】	： 85.0億円
【名濃バイパス】	： 11.2億円

1. 事業の必要性及び概要

- さんえんなんしん三遠南信自動車道は、ちゆうおうどう中央道、しんとうめい新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格道路です。
- がまごおり国道23号蒲郡バイパスは、めいほう地域高規格道路「名豊道路」の一部を構成し、がまごおり国道1号の交通混雑の緩和、がまごおり蒲郡市街部の交通安全確保等を目的に計画された道路です。
- めいのう国道41号名濃バイパスは、めいしん名神高速やなごや名古屋高速へのアクセス道路であり、交通渋滞の緩和、周辺住民や沿線に立地する大規模事業所の高速道路への利便性向上を目的に計画された道路です。

2. 事業箇所

- さんえんなんしん三遠南信自動車道：長野県飯田市 ~ 静岡県浜松市
- がまごおり国道23号蒲郡バイパス：愛知県豊川市為当町 ~ 額田郡幸田町
- めいのう国道41号名濃バイパス：愛知県小牧市村中 ~ 犬山市五郎丸



3. 令和4年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ さんえんなんしん三遠南信自動車道 【さくま佐久間道路・さんえん三遠道路（延長27.9km うち愛知県14.5km）】

- とうえい東栄IC ~ ほうらいきょう鳳来峡IC間（延長7.1km）の橋梁工事、トンネル工事等を推進。
《 令和7年度開通予定※1 》
 ※1：トンネル工事が順調に進んだ場合

■ がまごおり国道23号蒲郡バイパス（延長15.0km）

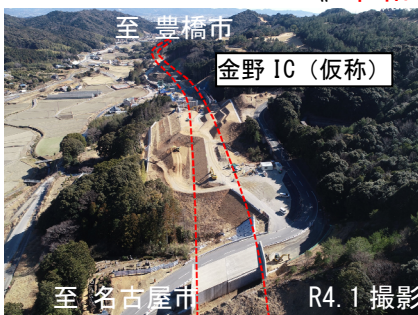
- とよかわためとう豊川為当IC ~ がまごおり蒲郡IC間（延長9.1km）の改良工事、橋梁工事等を推進。
《 令和6年度開通予定※2 》
 ※2：大規模切土工事が順調に進んだ場合

■ めいのう国道41号名濃バイパス（延長7.0km）

- おおぐちょうかみおぐち大口町上小口 ~ いぬやま犬山市五郎丸間（延長2.1km）の改良工事、舗装工事等を推進。
《 令和5年度までに順次開通予定 》



令和7年度開通に向け工事が進む
佐久間道路・三遠道路 東栄IC付近



令和6年度開通に向け工事が進む
蒲郡バイパス 金野IC（仮称）付近



令和5年度まで開通に向け工事が進む
名濃バイパス 高雄道塚交差点付近

4. 整備効果

重点：②社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大

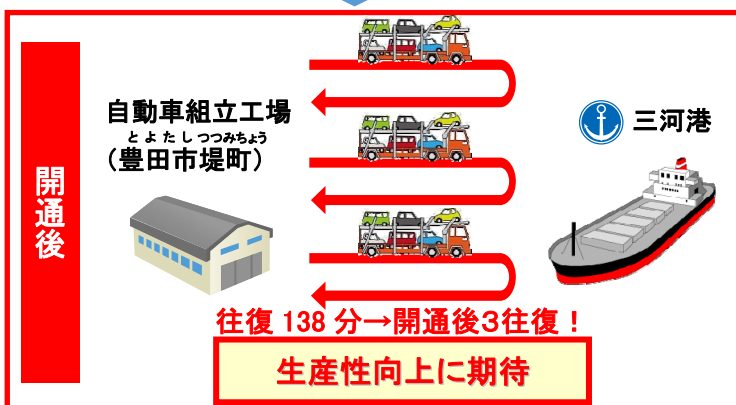
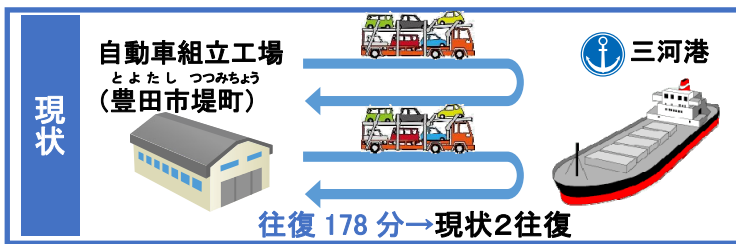
道路と港湾の連携による地域産業の活性化

- 名豊道路が令和6年度に全線開通することで、自動車組立工場から三河港までの完成自動車輸送回数が増加する等の効果が想定される。
- 名豊道路に直結する三河港は、完成自動車の輸出が10年連続で全国第2位である。
- 名豊道路沿線では、コロナ禍においても新規企業による工業団地への進出や新たな工業団地開発等が進展しており、名豊道路は地域産業の活性化に寄与している。

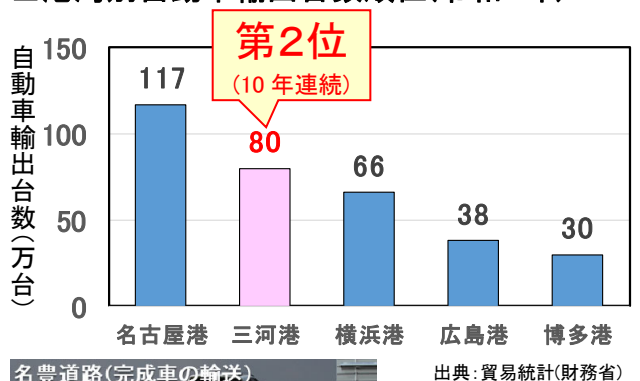
■名豊道路沿線の工業団地整備状況



■開通による効果：三河港への輸送回数増加



■港湾別自動車輸出台数順位(令和3年)



速度条件：(現状)ETC2.0プローブ情報(令和2年10月平日)
(開通後)既開通区間：ETC2.0プローブ情報(令和2年10月平日)
暫定2車線開通区間・未開通区間：現行の規制速度(60km/h)

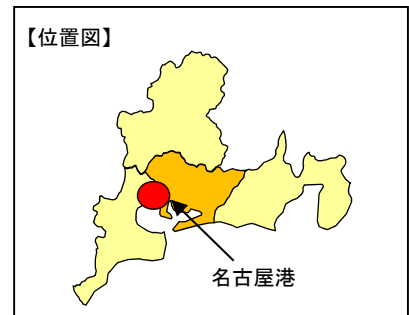
なごや 名古屋港ふ頭再編整備事業

1. 事業の必要性及び概要

令和4年度当初：115.4億円

近年、自動車部品や産業機械などのコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展に加え、飛島東側ターミナルの水深12m岸壁は供用後40年以上が経過し老朽化が進行しています。また、自動車運搬船の大型化の進展に加え、完成自動車取扱施設の分散による非効率な荷役が生じていることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

このため、飛島ふ頭地区においてコンテナ貨物の取扱拠点の整備を、金城ふ頭地区において完成自動車の輸出拠点の整備を行います。



2. 事業箇所

愛知県名古屋市、飛島村

3. 令和4年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、岸壁の増深改良及び耐震強化岸壁の整備を実施します。



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

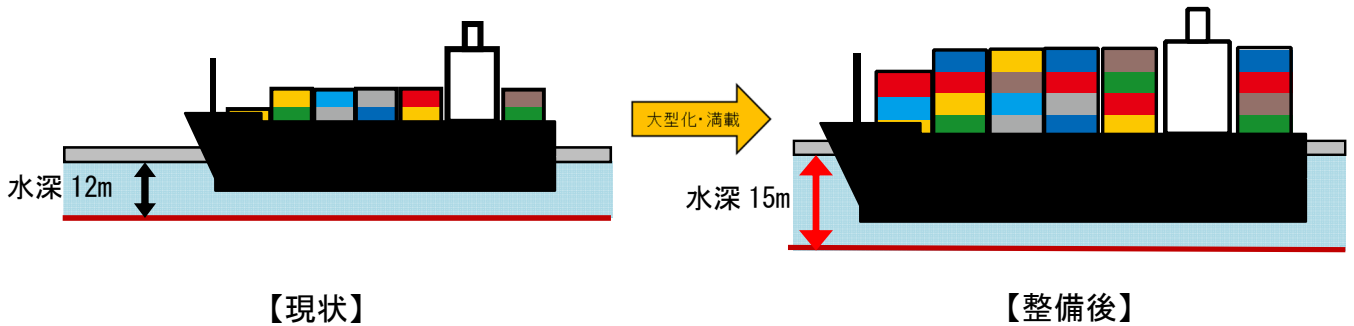
<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

重点：③豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくり

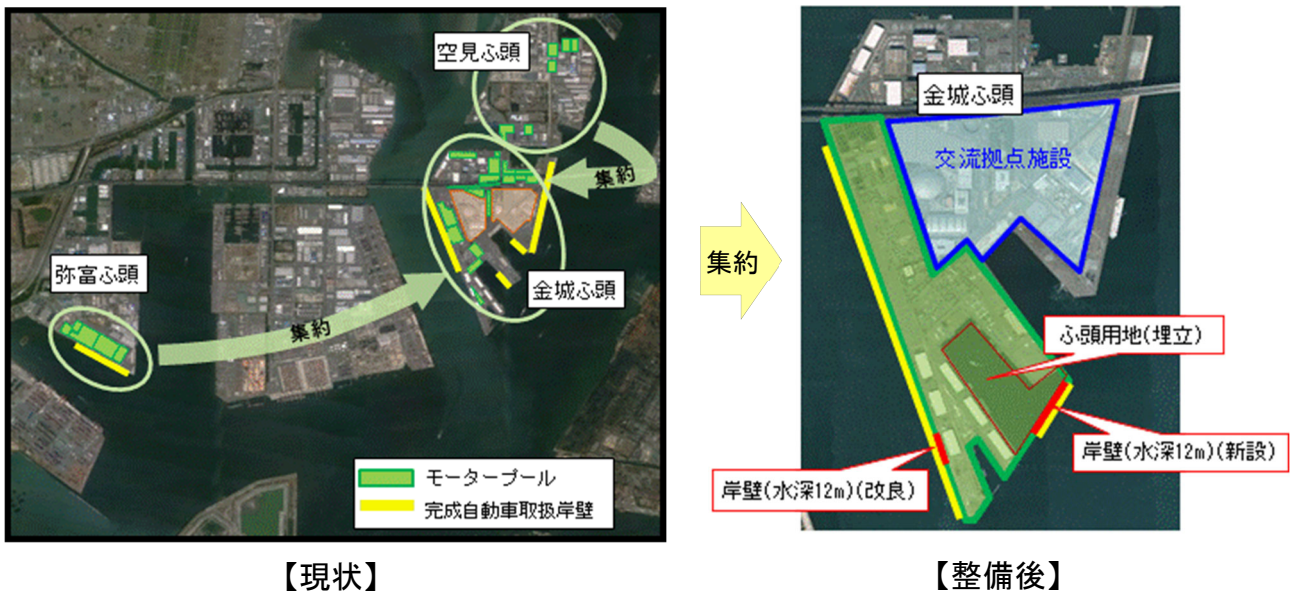
<コンテナ船の大型化への対応>

コンテナ船の大型化が進んでおり、岸壁の水深不足による非効率な輸送が発生していることから水深15mへ増深することにより、一度に輸送できる貨物量が増加することで輸送コストの低減を図り、物流効率化を推進します。



<モータープールの集約>

自動車運搬船の大型化が進んでおり、岸壁の水深不足による非効率な輸送や荷さばき地等の不足・分散による横持ちが発生していることから、ふ頭の再編・集約化により、物流効率化を推進します。



みかわ じんの
三河港 神野地区岸壁改良事業

1. 事業の必要性及び概要

令和4年度当初：0.9億円

完成自動車や鋼材、金属くずなどを取り扱う、背後産業の物流を支える岸壁であり、利用頻度が高くなっています。また、供用後40年余りが経過し、鋼矢板の劣化など老朽化が進行していることから、対策が必要となっています。

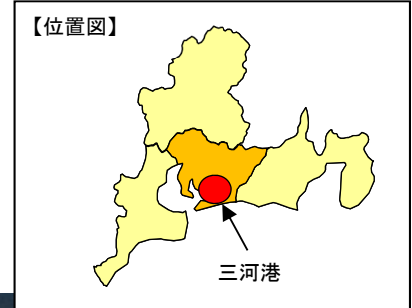
このため、神野地区において岸壁の改良を行います。

2. 事業箇所

愛知県豊橋市

3. 令和4年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、岸壁の老朽化対策を実施します。



4. 整備効果

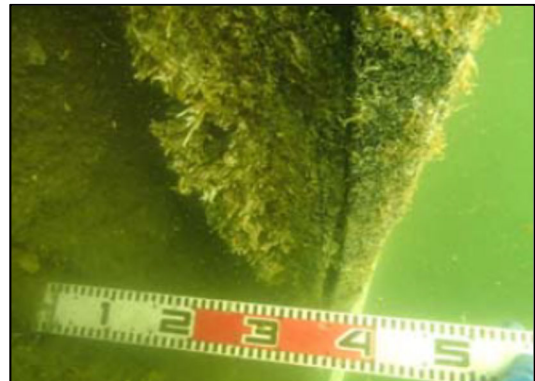
重点：①国民の安全・安心の確保

<岸壁の老朽化対策>

今後の利用を踏まえつつ計画的な老朽化対策により、将来にわたり港湾施設として機能を発揮し、背後産業の物流を支えます。



上部工の劣化状況



鋼矢板の劣化状況

なごや
名古屋第4地方合同庁舎整備等事業（PFI手法による庁舎整備）

令和4年度当初：0億円

1. 事業の必要性及び概要

所要の耐震性能を満たしていない庁舎の耐震化や老朽化への対応を図るため、既存庁舎を集約し、大規模災害時に地域の防災拠点となる名古屋第4地方合同庁舎の整備を推進します。



2. 事業箇所

愛知県名古屋市

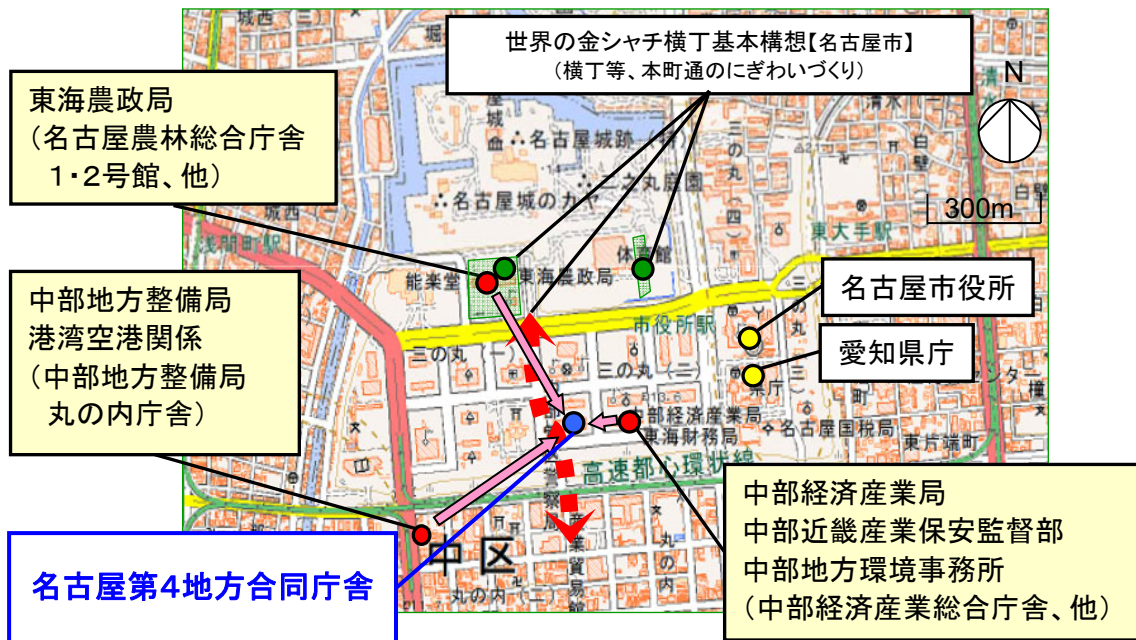
3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

令和7年度の完成を目指し、庁舎の設計等を推進します。（令和4年1月事業契約締結）

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

・名古屋第4地方合同庁舎は、大規模災害時に災害応急対策活動を行う東海農政局、中部経済産業局、中部地方整備局（港湾空港関係）等の官署を集約し、災害への対応拠点として地域防災に貢献します。



- 敷地
名古屋市中区三の丸2丁目6-2
敷地面積 6,582㎡
- 規模
延べ面積 25,703㎡
- 事業方式
PFI手法
(BTO(Build-Transfer-Operate)方式)
- 完成予定
令和7年12月



※画像は事業者の提案イメージであり、実際とは異なる場合があります。

みやがわ たじり かわさき みやがわ
宮川河川改修事業[田尻・河崎地区] (宮川水系)

令和4年度当初:11.0億円

1. 事業の必要性及び概要

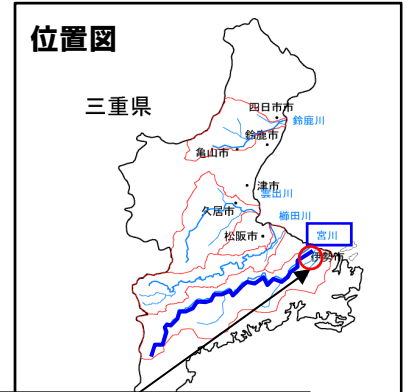
伊勢市街地を流れる宮川水系勢田川は、平成29年10月台風21号により広範囲の浸水被害が発生したことから、勢田川及び桧尻川における浸水被害軽減を図るため、平成30年6月に勢田川流域等浸水対策実行計画を策定しました。

この実行計画に基づき、勢田川における河道掘削や桧尻川排水機場のポンプ増強等を実施し、治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

いせ
三重県伊勢市

位置図

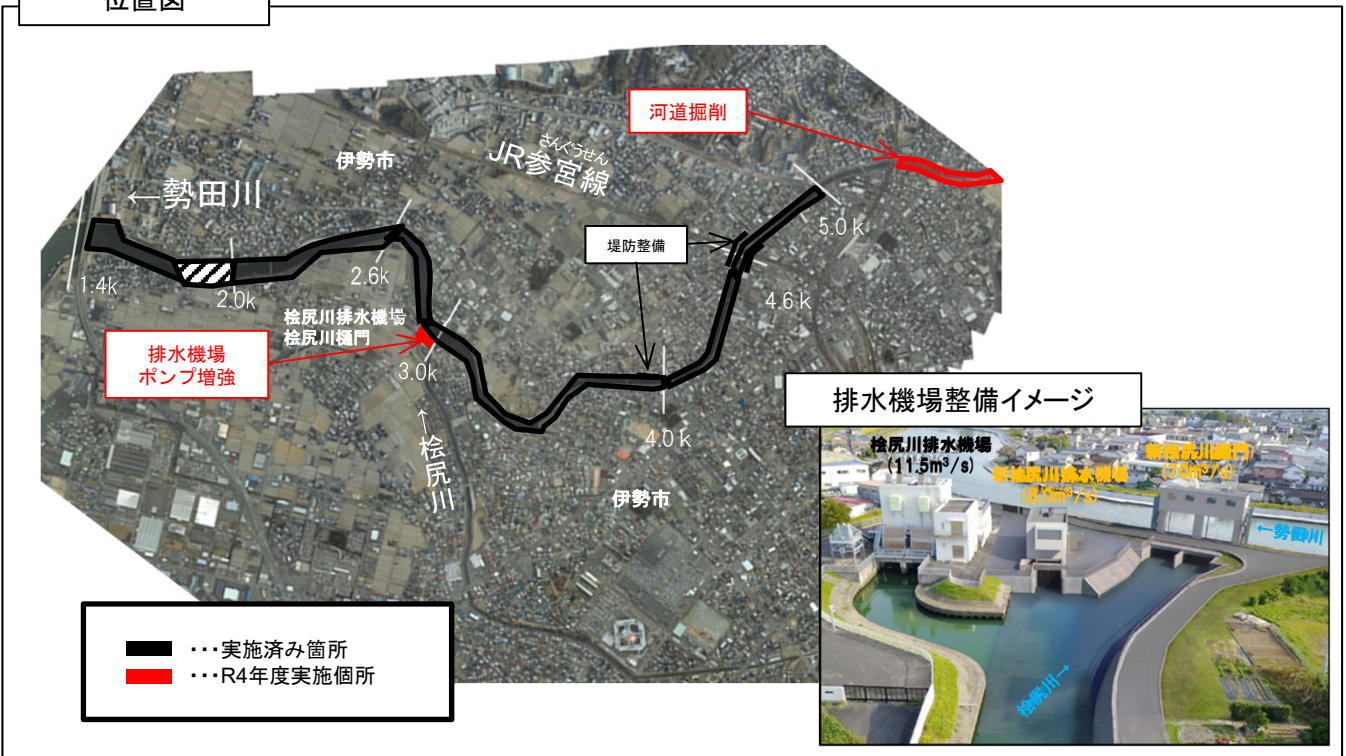


ふなえちよう
三重県伊勢市船江町地先付近
(田尻・河崎地区)

3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、河道掘削及び排水機場のポンプ増強を実施します。
(勢田川流域浸水対策緊急事業)

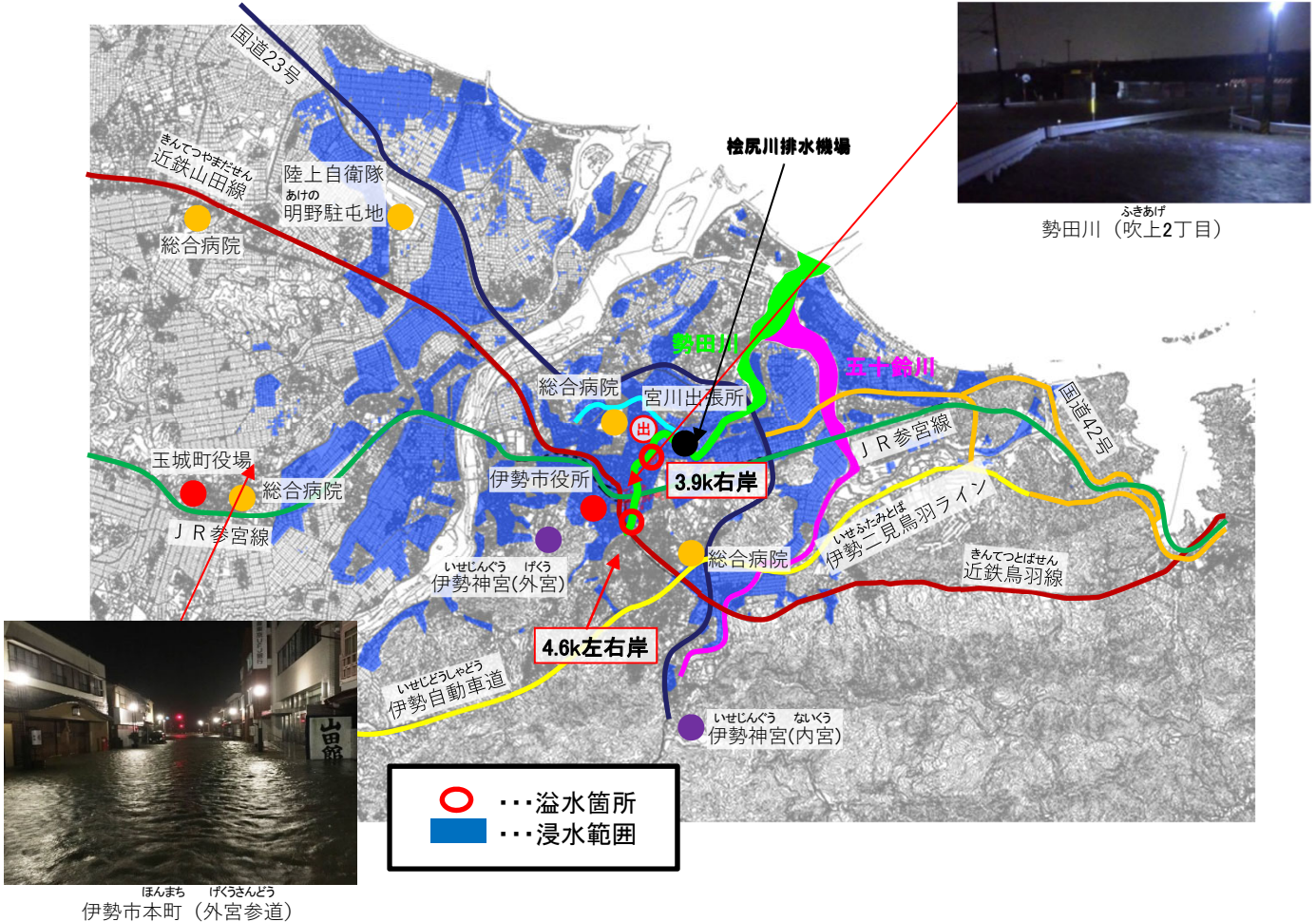
位置図



4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

- **平成29年10月(台風21号)洪水**では、勢田川河口部の満潮と台風による高潮、大雨がほぼ同時に生じ、**伊勢市の中心市街地を含む広範囲で浸水被害が発生**しました。(浸水面積 約3,034ha)



出展：写真及び浸水家屋数：平成29年台風第21号災害対応記録（伊勢市）より

- 緊急的な堤防のかさ上げや河道掘削、排水機場ポンプ増強等の対策を実施することにより、平成29年10月(台風21号)洪水に対して、**床上浸水を解消**します。



とうかいかんじょう
国道475号 東海環状自動車道

ほくせい
国道1号 北勢バイパス

ちゅうせい
国道23号 中勢道路

令和4年度当初【東海環状自動車道】：347.5億円〔三重県分：80.1億円〕
 【北勢バイパス】：33.8億円
 【中勢道路】：38.7億円

1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした中京圏の環状道路を形成する延長約153kmの高規格道路です。
- 国道1号北勢バイパス、国道23号中勢道路は、国道1号・23号等の渋滞緩和、交通安全の確保及び地域開発の支援を目的に計画された道路です。

2. 事業箇所

- 東海環状自動車道：愛知県豊田市～三重県四日市市
- 国道1号北勢バイパス：三重県三重郡川越町～四日市市
- 国道23号中勢道路：三重県鈴鹿市～松阪市小津町



3. 令和4年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ 東海環状自動車道【北勢～四日市(延長14.4km)】【養老～北勢(延長18.0kmうち三重県9.0km)】

- 北勢IC(仮称)～大安IC間(延長6.6km)の橋梁工事等を推進。《令和6年度開通見込み※1》
 - 養老IC～北勢IC(仮称)間(延長18.0km)の改良工事、橋梁工事等を推進。(三重県)《令和8年度開通見込み※2》
- ※1：財投活用による整備加速箇所 ※2：用地取得等が順調な場合

■ 国道1号北勢バイパス

- (市)日永八郷線～四日市市采女町間(延長12.5km)のトンネル工事等を推進。《令和6年度一部開通予定※1》
- ※1：トンネル工事が順調に進んだ場合

■ 国道23号中勢道路

- 鈴鹿市北玉垣町～野町間(延長2.8km)の改良工事、橋梁工事等を推進。《令和5年度開通予定》
- 津市大里窪田町(延長0.8km)の調査設計等を推進。



令和6年度開通に向け工事が進む
東海環状自動車道 北勢IC～大安IC

令和6年度開通に向け工事が進む
北勢バイパス 坂部トンネル内部

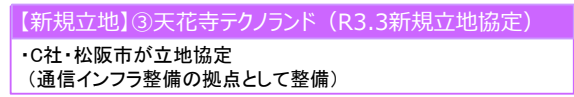
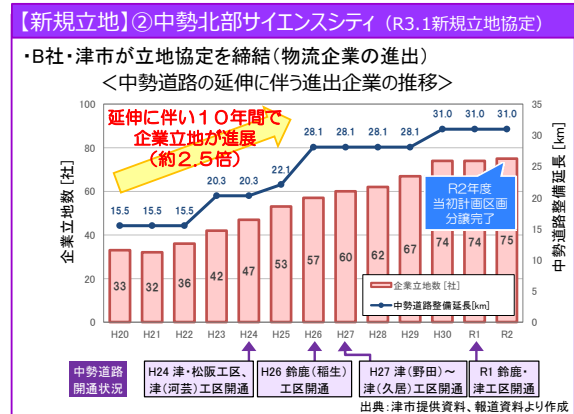
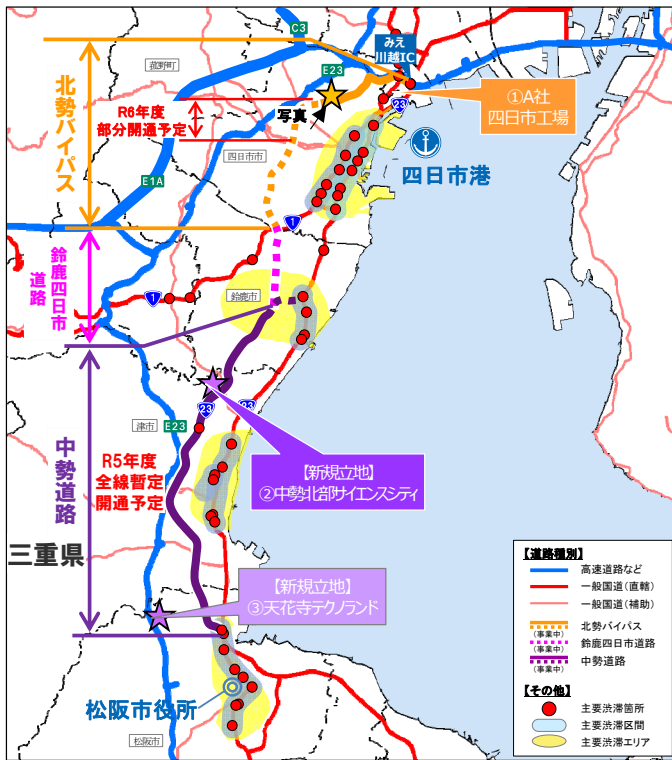
令和5年度開通に向け工事が進む
中勢道路 北玉垣高架橋付近

4. 整備効果

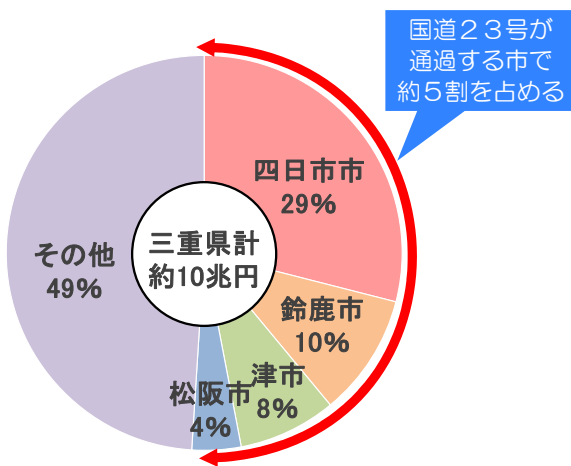
重点：②社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大

- ▶ 三重県は製造業が盛んであり、製造品出荷額は、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市で三重県全体の約5割をしめている。
- ▶ 沿線では、物流企業の新規立地等、コロナ禍においても、企業の設備投資が堅調。
- ▶ 中勢道路の令和5年度全線開通、北勢バイパスの令和6年度部分開通により、現道の主要渋滞箇所が回避され、四日市港への所要時間短縮による物流効率化が期待。

■沿線地域における企業立地・設備投資の進展

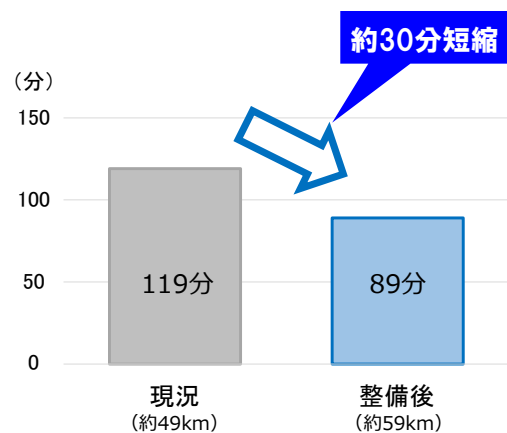


■三重県内における製造品出荷額の市町村別内訳



出典：工業統計調査 (H30)

■松阪市内（市役所）から四日市港の所要時間



※算出方法

- ・現況：ETC2.0 プローブ情報 (2019年10月平日平均17時台)
- ・整備後：未開通区間 (鈴鹿四日市道路、北勢バイパス) は規制速度 (60km/h) にて算出

よっかいち かすみがうら
四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業

1. 事業の必要性及び概要

令和4年度当初：10.5億円

近年、東南アジア航路のコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展により、水深14m岸壁を有する北ふ頭の利用が増加しています。また、背後の自動車企業等において完成自動車の取扱が増加する見込みです。

今後、大型船の着岸可能な岸壁の不足が見込まれることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

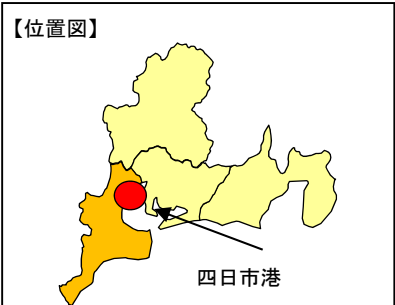
このため、^{かすみがうら}霞ヶ浦地区において国際物流ターミナルの整備を行います。

2. 事業箇所

三重県^{よっかいち}四日市市

3. 令和4年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、耐震強化岸壁の整備を実施します。



【現状】



【整備後】
霞ヶ浦北ふ頭へ
コンテナ機能の集約化



北ふ頭に係留するコンテナ船



南ふ頭に係留する自動車輸送船

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

重点：③豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくり

<コンテナ輸送距離短縮による効率化>

新たな岸壁の整備により、大型化が進展しているコンテナ船の着岸が可能となり、航路便数の増加が見込まれます。これにより、四日市港におけるコンテナ貨物量の増加への対応が可能となるとともに、他港への陸上輸送が解消され、効率的な輸送体系が可能となります。



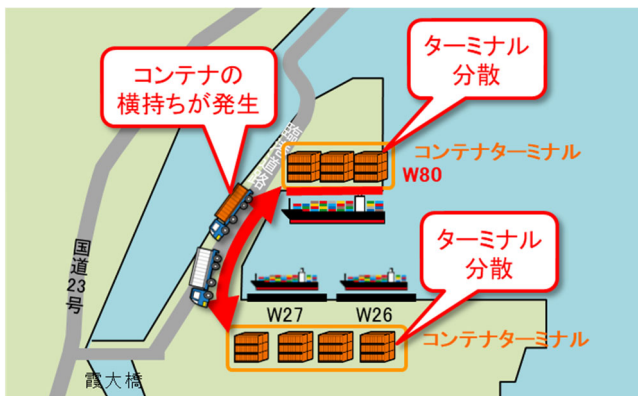
【現状】



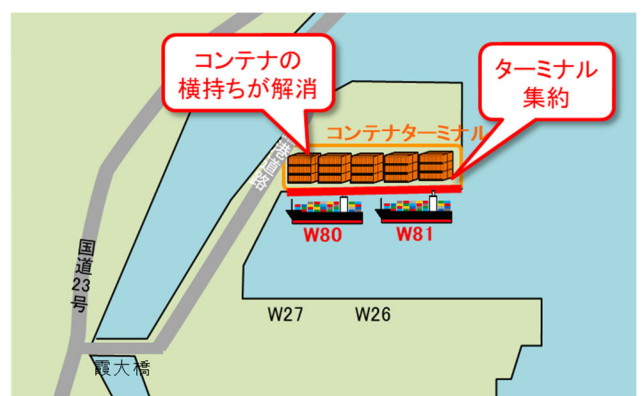
【整備後】

<ターミナルの効率化>

霞ヶ浦地区北ふ頭にコンテナ機能が集約化されることで、荷捌き地等の不足・分散による横持ちが解消され、効率的な荷役が可能となります。



【現状】



【整備後】

つ まつ さ か
津松阪港海岸 直轄海岸保全施設整備事業

1. 事業の必要性及び概要

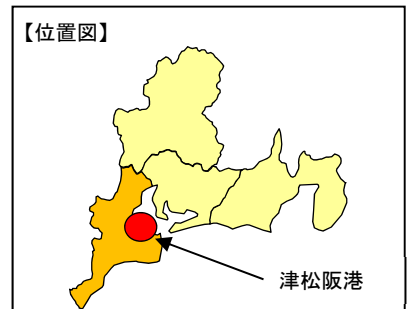
令和4年度当初：5.9億円

海岸堤防は、整備後50年以上が経過し、老朽化が進行するとともに、天端高さが不足しており、高潮による甚大な浸水被害が懸念されています。また、地震発生時には液状化による沈下の恐れがあることから耐震化が必要となっています。

このため、津地区（栗真工区、栗真町屋工区、阿漕浦・御殿場工区）において堤防の改良を行います。

2. 事業箇所

三重県津市



3. 令和4年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、堤防の老朽化対策及び耐震対策を実施します。



【整備前】



【整備後】

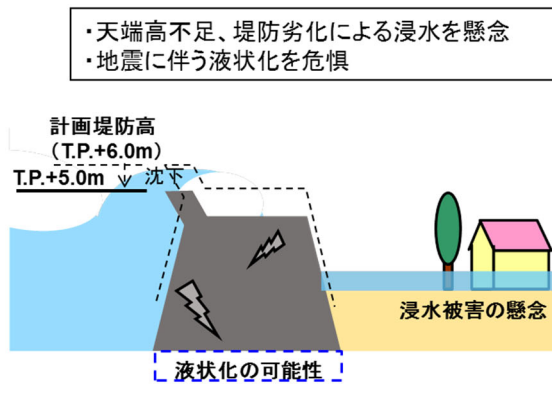
4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

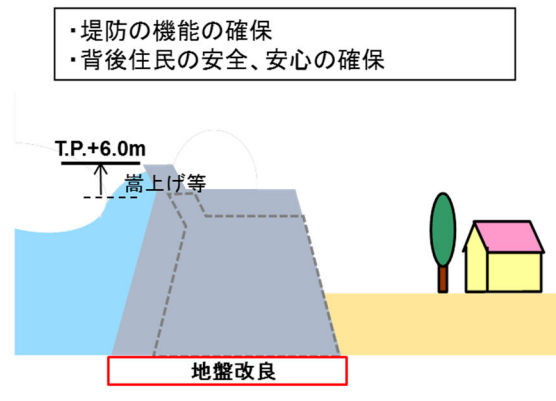
<浸水リスクの低減により、背後地域が活性化>

海岸堤防の計画天端高さを確保し、海岸堤防の機能を維持することで、高潮による背後地域への浸水を防護し、背後地域における住民の安全・安心を確保します。

【現状】



【整備後】



老朽化対策、液状化対策の実施

海岸堤防の整備に合わせて、背後地域の宅地開発が進むとともに、背後地域に企業や病院への新たな設備が投資されるなど、周辺地域の活性化が進んでいます。

阿漕浦・御殿場工区は、海浜を利用した多くのイベントが開催されている海岸であり、この地域の賑わいづくりにも寄与できるものと期待されています。



【凡例】

● : 堤防整備開始後の宅地開発 □ : 防護区域

— : 堤防整備中

てんりゅうがわちゅうりゅう

天竜川中流地区直轄地すべり対策事業

令和4年度当初:4.4億円

1. 事業の必要性及び概要

天竜川中流地区には地すべりが多数存在しており、近年豪雨が増加傾向にあることや南海トラフ地震の発生確率が高くなっていることから、地すべり発生リスクが高まっています。

地すべりが発生した場合、地すべりによる直接被害や天然ダムの湛水・決壊により広域にわたり浸水・氾濫被害が発生し、基幹集落である平岡地区をはじめ、国・県道および鉄道等が被災する恐れがあるため、早期に地すべり対策工事を実施し、土砂災害の防止・軽減を図ります。



2. 事業箇所

しもいなぐん あなんちよう てんりゅうむら

長野県下伊那郡阿南町、天龍村

3. 令和4年度実施予定内容及び現在の実施状況

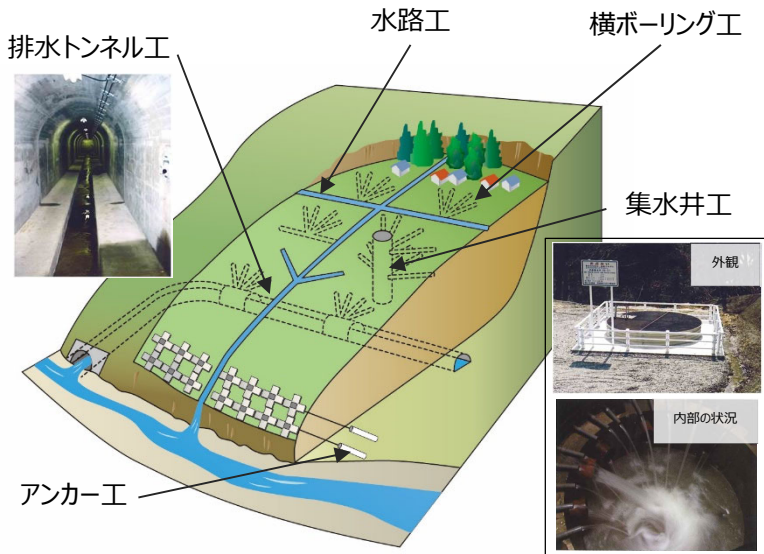
しゅうすいせい

引き続き、集水井工を実施します。

■天竜川中流地区



■対策イメージ



■平岡地区全景



■開窪地区全景



凡例 ● 公共施設等 — 国道、県道 ≡ JR線 ○ 地すべりブロック

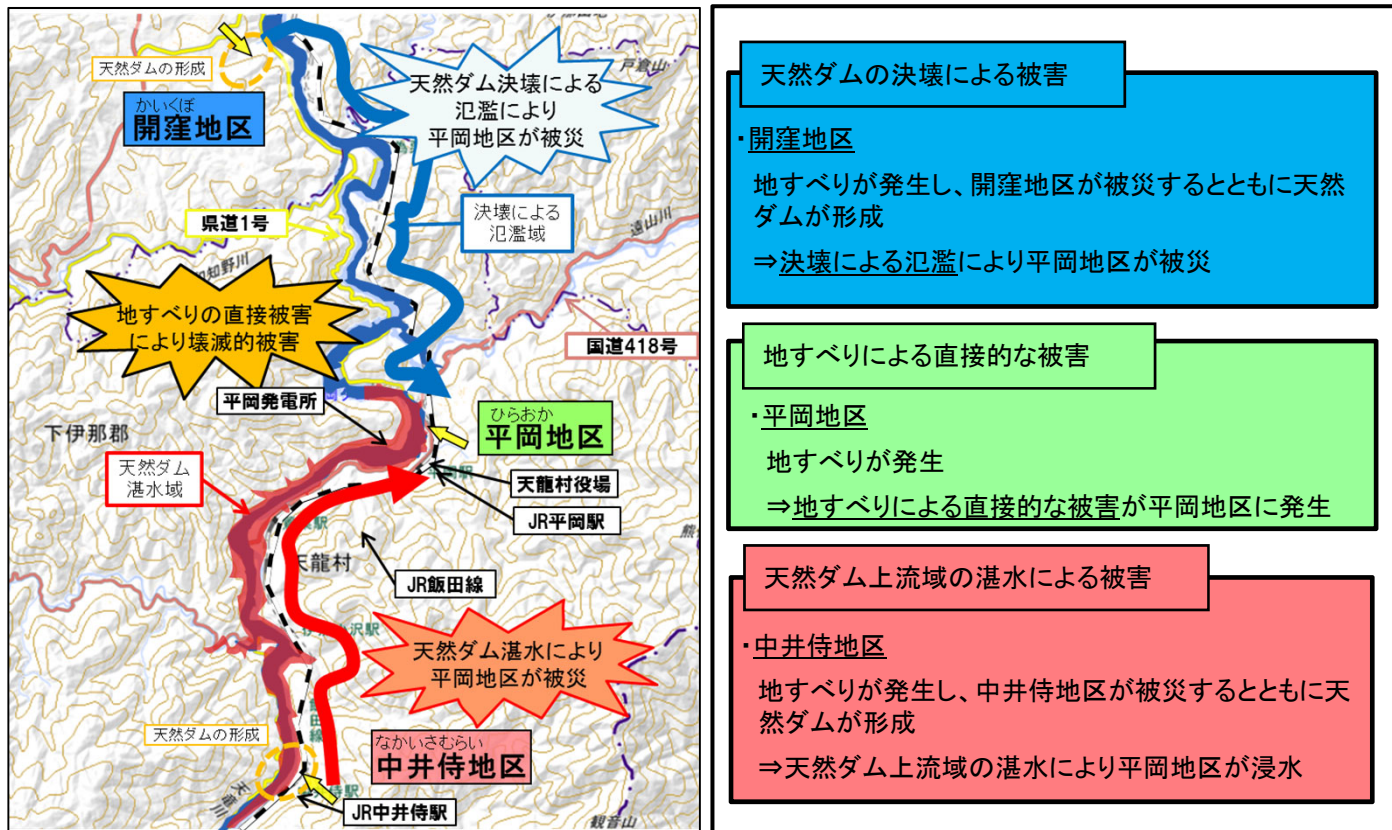
地すべりブロック：地すべりとして一体となって動く恐れがある土砂や岩の塊の範囲

4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

地域の基幹的な集落である平岡地区を中心とした天竜川中流地区内の地すべり災害安全度が向上し、地すべりによる直接被害、天竜川の河道閉塞の湛水・決壊による土砂・洪水氾濫被害を防ぎます。

■災害発生時の影響



■近年の土砂災害



■事業実施による効果

- 地すべり土塊の滑動に伴う、居住地・道路・鉄道・発電所等インフラの直接被害の防止
- 地すべりにより河道閉塞が発生した場合の、上流の湛水、下流の氾濫に伴う間接被害の防止
- 基幹集落機能（役場機能等）の保全（平岡地区）

【主な保全対象】

重要施設：天龍村役場、天龍村診療所、平岡発電所、深見浄化センター、早木戸発電所 等
 幹線：国道418号、県道1号、JR飯田線 等
 保全家屋：369戸
 事業所数：82箇所

さんえんなんしん
国道474号 三遠南信自動車道

令和4年度当初【三遠南信自動車道】：156.0億円

〔長野県分：65.3億円〕

1. 事業の必要性及び概要

- さんえんなんしん 三遠南信自動車道は、ちゅうおうどう 中央道、しんとうめい 新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格道路です。



2. 事業箇所

■ さんえんなんしん 三遠南信自動車道 : 長野県 いいた 飯田市 ~ 静岡県 はままつ 浜松市

3. 令和4年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ さんえんなんしん 三遠南信自動車道

【いいたか 飯嵩道路（延長22.1km）】 【あおくずれとうげ 青崩峠道路（延長5.9km うち長野県3.3km）】

- いいたかみひさかた 飯田上久堅・たかぎとみだ 喬木富田IC～たかぎ 喬木IC間（延長7.5km）の改良工事、橋梁工事等を推進。
- こおろし 小嵐IC（仮称）～みさくぼきた 水窪北IC（仮称）間（延長5.9km）の改良工事、トンネル工事等を推進。



橋梁下部工の施工状況
いいたか
飯嵩道路



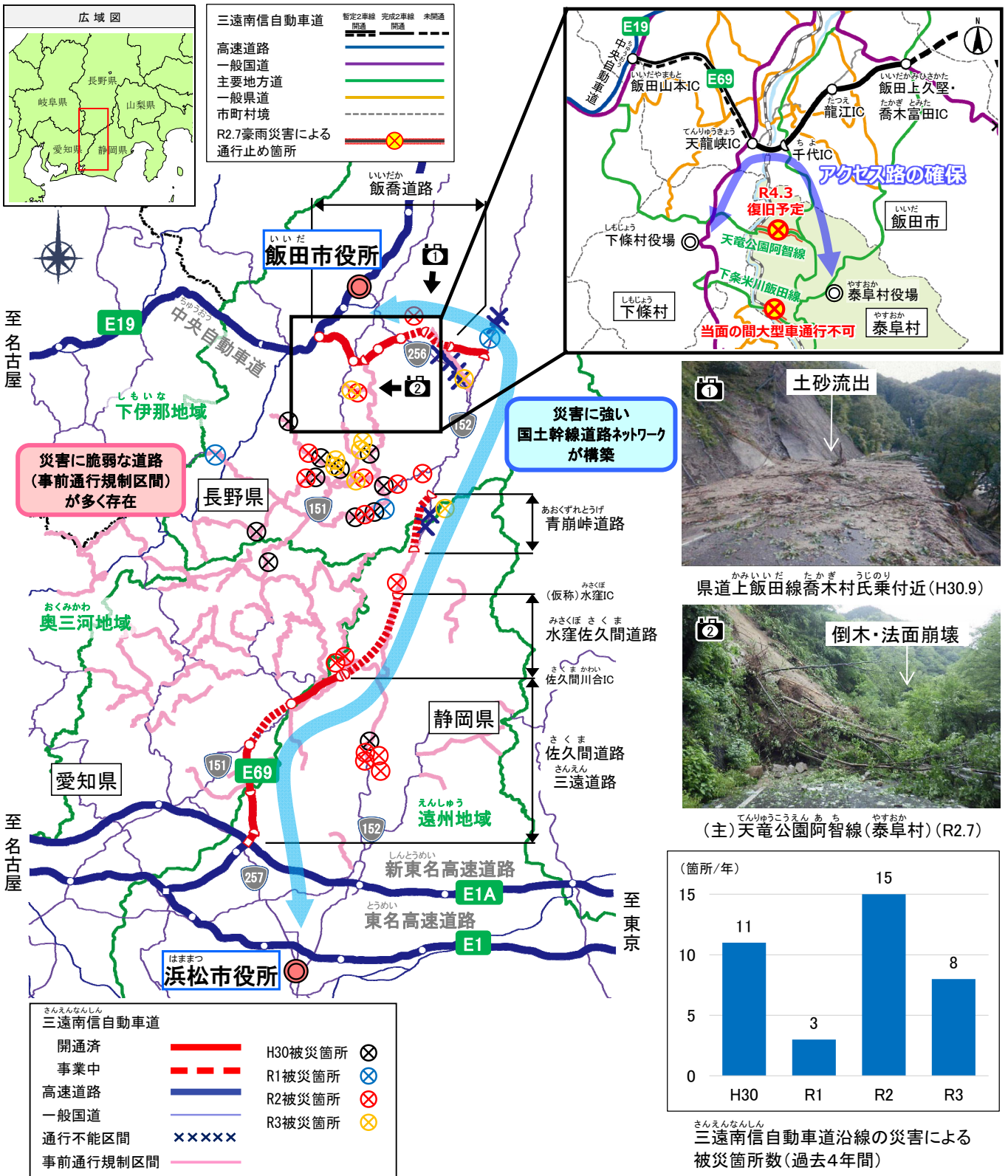
トンネル坑口付近の工事状況
あおくずれとうげ
青崩峠道路（長野側）

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

災害に強い国土幹線道路ネットワークを構築し、災害時も連絡可能な道路を整備！

- 県境付近は事前通行規制区間が多く、災害時に連絡できる道路が脆弱
- 令和2年7月豪雨で、**泰阜村**へアクセスする県道の複数で通行止めが発生したが、**飯橋道路**が**泰阜村**へのアクセス道路として機能し、リダンダンシー効果を発揮
- 三遠南信自動車道の整備により、地域間を結ぶ交通軸が形成され、「**災害に強い国土幹線道路ネットワーク**」が構築



個表一施1

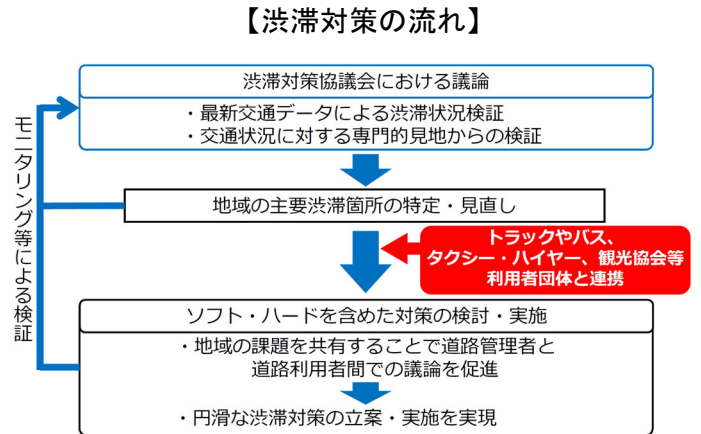
【事業主体：国】

官民連携による渋滞対策の推進

1. 概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。



2. 主な事業箇所・事業内容

国道21号 楽田町交差点 (岐阜県 大垣市)



<< 車線運用の変更を予定 >>
※ 左折専用車線 → 左折直進混用車線

国道1号 二軒家交差点 (静岡県 静岡市)



<< バス停拡幅及び直進車線の増設を予定 >>

国道153号 植田一本松交差点 (愛知県 名古屋市)



<< 交差点のコンパクト化を予定 >>

国道1号 羽津町交差点 (三重県 四日市市)



<< 右折ポケットの設置を予定 >>

将来像の実現に向けた主な取り組み

政策つなぐマッピング

中部地方整備局では、令和3年6月、「中部圏長期ビジョン検討会」を設置し、中部圏を取り巻く現状や変化を分析し、中長期的・広域的な視点に立って、今後の地域づくりのあり方や将来像について提言いただき、「中部圏長期ビジョン」をとりまとめました。

「中部圏長期ビジョン」では、各地域で実施しているビジョン実現のための取組について「将来像の実現に向けた市町村等による主な取り組み＝政策つなぐマッピング＝」として整理しました。

令和4年度に中部地方整備局が取り組む主な事業についても、『政策つなぐマッピング』として整理し、関係機関や地域での連携が促進されるよう、ビジョンを実現するための施策として共有します。

政策つなぐマッピング (2/3)

将来像の実現に向けた主な取り組みの分野

個票 No.	施策名	重点連携プロジェクトの分野						目指すべき将来像																	
		観光	スタートアップ	カーボニュートラル	ネットワーク			働き方・住まい方	医療・福祉	教育・学び	子育て・育児	多文化共生	健康・スポーツ	にぎわい・交流拠点	歴史・文化・芸術	環境・景観	交通・物流	まちづくり構想	行政運営	人材育成	先端技術・研究開発 X (デジタル技術)	企業誘致	農林水産業		
					デジタルネットワーク	港湾ネットワーク	道路ネットワーク																	先進モビリティ	リニア関連
愛知県																									
愛 1	矢作川河川改修事業 [連合地区] (矢作川水系)	●					●																		
愛 2	庄内川河川改修事業 庄内川特定構造物改善事業 [枇杷島地区] (庄内川水系)	●					●																		
愛 3	設楽ダム建設事業	●					●																		
愛 4	国道474号 三連南信自動車道						●																		
愛 4	国道23号 蒲郡バイパス						●																		
愛 4	国道41号 名濃バイパス						●																		
愛 5	名古屋港ふ頭再編整備事業						●																		
愛 6	三河港 神野地区岸壁改良事業						●																		
愛 7	名古屋第4 地方合同庁舎整備事業 (PF手法による庁舎整備)	●					●																		
三重県																									
三 1	宮川河川改修事業 [田尻・河崎地区] (宮川水系)	●					●																		
三 2	国道475号 東海環状自動車道						●																		
三 2	国道1号 北勢バイパス						●																		
三 2	国道23号 中勢道路						●																		
三 3	四日市港龍ヶ沖地区国際物流ターミナル整備事業						●																		
三 4	津松阪海岸 直轄海岸保全施設整備事業	●					●																		

4. 県別の整備箇所事例一覧

【岐阜県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R4当初配分額	
河川関係	庄内川河川改修事業(多治見市 豊岡地区 庄内川豊岡地区堤防整備事業)	国	2.4億円	
	木曽川下流河川改修事業(海津市 本阿弥新田地区 揖斐川海津堤防整備事業 他)	国	6.1億円	
	木曽川上流河川改修事業 (大垣市 横菅根地区 木曽川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)他)	国	31.6億円	
	木曽川総合水系環境整備事業(岐阜市 忠節地区 水辺整備 他)	国	1.0億円	忠節地区 R4年度新規箇所
	庄内川総合水系環境整備事業(多治見市、土岐市 庄内川上流部地区 自然再生)	国	0.2億円	
	新丸山ダム建設事業	国	111.0億円	
	木曽川水系直轄砂防事業(中津川市 川上流路工改築 他)	国	10.0億円	
	庄内川水系直轄砂防事業(多治見市 殿ヶ洞砂防堰堤工群 他)	国	4.9億円	
	越美山系直轄砂防事業(揖斐川町 三倉大谷第1砂防堰堤 他)	国	16.1億円	
	大谷川大規模特定河川事業(大垣市 JR橋梁移設 他)	県	1.1億円	R4年度新規箇所
	内ヶ谷ダム建設事業	県	37.0億円	
	事業間連携砂防等事業(郡上市 白鳥町千田野堰堤改良工 他)	県	4.9億円	
	河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	3.3億円	R4年度新規箇所
道路関係	国道158号 中部縦貫自動車道	国	35.3億円	
	国道475号 東海環状自動車道	国	267.4億円	関～養老 R6年度 全線開通見込み 養老～北勢 R8年度 全線開通見込み※
	国道 41号 高山下呂連絡道路 石浦バイパス	国	1.4億円	
	国道 19号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)・(恵那工区)	国	32.6億円	
	国道 21号 岐大バイパス	国	10.0億円	
	国道 41号 上麻生防災	国	7.1億円	
	国道 41号 屏風岩改良	国	6.3億円	
	国道 41号 門原防災	国	8.7億円	
	国道 41号 船津割石防災	国	7.0億円	
	国道156号 岐阜東バイパス	国	12.4億円	
	国道156号 郡上大橋架替	国	2.0億円	
	国道 19号 岐阜19号 交差点改良等(東町1交差点改良)	国	0.2億円	R4年度 新規事業化
	国道 41号 岐阜41号 交差点改良等(上岡本町南交差点改良)	国	0.1億円	R4年度 新規事業化
国道 41号 岐阜41号 交差点改良等(梨ヶ根登坂)	国	2.4億円		
国道258号 大垣電線共同溝	国	3.7億円		
公園関係	国営木曽三川公園 (国営公園整備事業) 〔木曽三川公園センター 等〕	国	3.9億円	

※ 用地取得等が順調な場合

【静岡県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R4当初配分額	
河川関係	狩野川河川改修事業(清水町、長泉町 黄瀬川地区 黄瀬川洪水氾濫防止事業 他)	国	11.3億円	
	安倍川河川改修事業(静岡市 下河原地区 安倍川下流部河道掘削事業 他)	国	2.3億円	
	大井川河川改修事業(焼津市、吉田町 飯淵・川尻地区 大井川飯淵・川尻河口部河道掘削事業 他)	国	5.3億円	
	菊川河川改修事業(菊川市 半済地区 菊川本所無堤部対策事業 他)	国	5.3億円	
	天竜川下流河川改修事業(浜松市、磐田市 飯田・掛塚地区 天竜川下流部水位低下対策事業 他)	国	3.9億円	
	狩野川総合水系環境整備事業(清水町 柿田地区 自然再生 他)	国	0.8億円	
	大井川総合水系環境整備事業(島田市 宝来地区 水辺整備)	国	1.0億円	
	天竜川ダム再編事業	国	7.9億円	
	狩野川水系直轄砂防事業(伊豆市、松沢川砂防堰堤群 他)	国	7.4億円	
	富士山直轄砂防事業(富士宮市 大沢川源頭部 他)	国	27.7億円	
	安倍川水系直轄砂防事業(静岡市 大谷山腹工 他)	国	6.8億円	
	由比地区直轄地すべり対策事業	国	19.7億円	
	沼川大規模特定河川事業(沼津市 放水路整備)	県	20.0億円	
	事業間連携砂防等事業(静岡市 口坂本No.2横ポーリング工 他)	県	5.2億円	
河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	4.9億円	R4年度新規箇所	
道路関係	国道1号・414号 伊豆縦貫自動車道	国	82.9億円	R4年度一部開通予定
	国道474号 二遠南信自動車道	国	35.7億円	
	国道 1号 静岡東西道路 静岡バイパス	国	77.2億円	
	国道 1号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)	国	7.8億円	
	国道 1号 富士由比バイパス	国	0.3億円	
	国道 1号 藤枝バイパス	国	26.2億円	
	国道 1号 島田金谷バイパス	国	29.0億円	R6年度一部開通予定
	国道 1号 浜松バイパス(長鶴～中田島)	国	0.5億円	R4年度新規事業化
	国道138号 御殿場バイパス(西区間)	国	2.6億円	
	国道139号 富士改良	国	8.4億円	
	国道246号 裾野バイパス	国	1.0億円	
	国道 1号 静岡1号 交差点改良等(清水町地区歩道空間改善)	国	1.4億円	R4年度新規事業化
	国道 1号 静岡1号 交差点改良等(中野町IC改良)	国	0.1億円	R4年度新規事業化
	国道 1号 静岡1号 交差点改良等(浜松西部地区事故対策)	国	2.1億円	
国道139号 静岡139号 交差点改良等(富士宮地区通行空間整備)	国	1.0億円	R4年度新規事業化	
国道246号 静岡246号 交差点改良等(長泉IC交差点改良)	国	1.0億円	R4年度新規事業化	
国道 1号 栄町地区電線共同溝	国	1.3億円		
港湾関係	清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業	国	8.7億円	
	清水港日の出地区岸壁改良事業	国	5.6億円	
	清水港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	1.9億円	
	清水港富士見地区岸壁改良事業	国	4.0億円	
	御前崎港女岩地区防波堤(改良)整備事業	国	1.8億円	R4年度完成予定
	御前崎港女岩地区岸壁改良事業	国	4.3億円	
	田子の浦港港口地区航路・泊地整備事業	国	2.2億円	
下田港防波堤整備事業	国	3.5億円		
海岸関係	富士海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	13.4億円	
	駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	10.9億円	
	相良須々木海岸津波対策緊急事業	県	1.5億円	
	海岸メンテナンス事業(磐田市 老朽化対策 他)	県	0.2億円	R4年度新規箇所
官庁営繕関係	沼津地方合同庁舎(耐震改修)	国	2.4億円	
	静岡地方合同庁舎・静岡法務総合庁舎(耐震改修)	国	2.1億円	

【愛知県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R4当初配分額	
河川関係	豊川河川改修事業(豊橋市 暮川地区 豊川下条霞浸水被害対策事業 他)	国	3.9億円	
	矢作川河川改修事業(豊田市 渡合地区 矢作川鵜の首地区水位低下対策事業 他)	国	12.6億円	
	庄内川河川改修事業(名古屋市中区 比津地区 庄内川比津地区河道掘削事業 他)	国	15.5億円	
	木曽川下流河川改修事業(豊田市 福原地区 長良川下流域しゅんせつ事業 他)	国	0.6億円	
	木曽川上流河川改修事業(一宮市 起地区 木曽川起・小信中島堤防改築事業)	国	2.6億円	
	豊川総合水系環境整備事業(豊橋市、豊川市 豊川下流部地区 自然再生)	国	0.5億円	
	矢作川総合水系環境整備事業(西尾市、碧南市 矢作川河口部地区 自然再生)	国	0.9億円	
	木曽川総合水系環境整備事業(一宮市 東加賀野井地区 自然再生 他)	国	2.4億円	
	矢作ダム再生事業	国	3.1億円	
	設楽ダム建設事業	国	151.9億円	
	八田川・地蔵川床上浸水対策特別緊急事業(名古屋市中区 春日井市 排水機場整備 他)	県	9.2億円	R3年度完成予定
	柳生川大規模特定河川事業(豊橋市 地下河川整備)	県	20.6億円	
	堀川事業間連携河川事業「100ミリ安心プラン」(名古屋市中区 護岸整備 他)	市	12.0億円	R4年度新規箇所
	事業間連携砂防等事業(豊田市 牛地町砂防堰堤工 他)	県	8.1億円	
	河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	5.3億円	R4年度新規箇所
道路関係	国道474号 三遠南信自動車道	国	55.0億円	R7年度一部開通予定※1
	国道 23号 豊橋浜松道路・名豊道路 豊橋バイパス	国	5.6億円	
	国道 23号 名豊道路 蒲郡バイパス	国	85.0億円	R8年度全線開通予定※2
	国道 23号 名豊道路 岡崎バイパス	国	1.0億円	
	国道247号 西知多道路(東海ジャンクション)	国	51.9億円	
	国道247号 西知多道路(長浦～日長)	国	5.0億円	
	国道 1号 震災橋架替(熱田伝馬橋架替)	国	2.4億円	
	国道 41号 名濃バイパス	国	11.2億円	R5年度までに順次開通予定
	国道153号 豊田北バイパス	国	8.0億円	
	国道153号 伊勢神改良	国	16.3億円	
	国道155号 豊田南バイパス	国	19.9億円	
	国道302号 名古屋環状2号線・愛知302号環境対策	国	33.7億円	
	国道 1号 愛知1号 交差点改良等(岡崎地区歩道整備)	国	0.6億円	
	国道 1号 愛知1号 交差点改良等(国府駅前交差点歩道橋整備)	国	0.5億円	R4年度新規事業化
	国道 19号 愛知19号 交差点改良等(高岳地区交差点改良)	国	0.2億円	R4年度新規事業化
	国道 41号 愛知41号 交差点改良等(落合玄馬地区交差点改良)	国	0.7億円	R4年度新規事業化
	国道153号 愛知153号 交差点改良等(天白植田地区事故対策)	国	0.8億円	R4年度新規事業化
	国道153号 愛知153号 交差点改良等(勤八地区歩道整備)	国	1.4億円	R4年度新規事業化
国道 41号 小牧電線共同溝	国	3.1億円		
国道302号 鳴海Ⅱ共同溝	国	8.1億円		
港湾関係	名古屋港ふ頭再編整備事業	国	115.4億円	
	名古屋港金城ふ頭地区岸壁改良事業	国	0.4億円	
	三河港神野地区国際物流ターミナル整備事業	国	3.3億円	
	三河港神野地区岸壁改良事業	国	0.9億円	
	衣浦港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	0.3億円	
	衣浦港武豊北ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業	国	2.2億円	
	衣浦港中央ふ頭西地区岸壁改良事業	国	0.3億円	
海岸関係	田原海岸津波対策緊急事業	県	3.0億円	
	海岸メンテナンス事業(常滑市 老朽化対策 他)	県	3.0億円	R4年度新規箇所
公園関係	国営木曽三川公園(国営公園整備事業)	国	1.9億円	R4年度秋Ⅱ期エリア追加開園見込み
	【フラワーパーク江南 等】			
官庁宮関係	名古屋第4地方合同庁舎整備等事業(新築等、PFI事業)	国	0億円	
	名古屋第1地方合同庁舎(自家発電設備改修、受変電設備改修)	国	3.4億円	
	名古屋税関西部出張所(屋根改修、外壁改修、建具改修)	国	1.5億円	

※1 トンネル工事が順調に進んだ場合
 ※2 大規模切土工事が順調に進んだ場合

【三重県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R4当初配分額	
河川関係	木曽川下流河川改修事業(桑名市 深谷地区 揖斐川深谷地区堤防整備事業 他)	国	16.9億円	
	鈴鹿川河川改修事業(四日市市 塩浜地区 鈴鹿川下流部河道掘削事業 他)	国	5.4億円	
	雲出川河川改修事業(津市 須賀瀬地区 雲出川中流部河道掘削事業 他)	国	6.6億円	
	榑田川河川改修事業(松阪市 清水地区 榑田川清水堤防整備事業)	国	1.5億円	
	宮川河川改修事業(伊勢市 田尻・河崎地区 勢田川流域浸水対策緊急事業 他)	国	11.0億円	
	木曽川総合水系環境整備事業(桑名市 木曽・揖斐川河口部地区 自然再生)	国	0.9億円	
	榑田川総合水系環境整備事業(松阪市 東黒部地区 自然再生)	国	0.3億円	
	宮川総合水系環境整備事業(玉城町 屋田地区 自然再生)	国	0.1億円	
	相川大規模特定河川事業(津市 道路橋梁架替 他)	県	2.2億円	
	鳥羽河内ダム建設事業	県	13.1億円	
	事業間連携砂防等事業(熊野市 五郷町寺谷砂防堰堤工 他)	県	7.3億円	
	河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	4.8億円	R4年度新規箇所
道路関係	国道 42号 熊野道路	国	26.1億円	
	国道 42号 紀宝熊野道路	国	7.8億円	
	国道475号 東海環状自動車道	国	80.1億円	北勢～四日市 R6年度 全線開通見込み 養老～北勢 R8年度 全線開通見込み※1
	国道 1号 桑名東部拡幅	国	23.7億円	
	国道 1号 北勢バイパス	国	33.8億円	R6年度 一部開通予定※2
	国道 1号 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業	国	1.6億円	
	国道 23号 鈴鹿四日市道路	国	5.0億円	
	国道 23号 中勢道路	国	38.7億円	R5年度 全線開通予定
	国道 42号 松阪多気バイパス	国	11.8億円	
	国道 23号 三重23号 交差点改良等(小木町1交差点改良)	国	0.4億円	R4年度 新規事業化
	国道 25号 三重25号 交差点改良等(板屋IC改良)	国	1.3億円	
国道 42号 三重42号 交差点改良等(熊野地区自転車通行空間整備)	国	0.2億円	R4年度 新規事業化	
国道 23号 伊勢南電線共同溝	国	1.7億円		
港湾関係	四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業	国	10.5億円	
	四日市港霞ヶ浦南ふ頭地区岸壁改良事業	国	1.0億円	R4年度完成予定
海岸関係	四日市港外港地区防波堤(改良)事業	国	0.2億円	
	津松阪港海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	5.9億円	
	上野・白塚海岸海岸保全施設整備連携事業	県	0.8億円	
	海岸メンテナンス事業(桑名市 老朽化対策 他)	県	2.6億円	R4年度新規箇所
公園関係	国営木曽三川公園(国営公園整備事業) [桑名七里の渡し公園]	国	0.2億円	
官庁 営繕 関係	津地方合同庁舎(受変電設備改修、自家発電設備改修 他)	国	0.4億円	

※1 用地取得等が順調な場合

※2 トンネル工事が順調に進んだ場合

【長野県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R4当初配分額
河川関係	てんりゅうがわ たかもり やまぶき やまぶき 天竜川上流河川改修事業(高森町 山吹地区 天竜川山吹地区堤防整備事業 他)	国	6.8億円
	みぶがわ 三峰川総合開発事業	国	4.9億円
	てんりゅうがわ おおしか かしおがわいりほぎんこう 天竜川水系直轄砂防事業(大鹿村 鹿塩川溪流保全工 他)	国	43.2億円
	きそがわ おおくわ しもざい えんていこうぐん 木曾川水系直轄砂防事業(大桑村 下在砂防堰堤工群 他)	国	14.5億円
	てんりゅうがわちゅうりゅう 天竜川中流地区直轄地すべり対策事業	国	4.4億円
このた 此田地区直轄地すべり対策事業	国	0.9億円	
道路関係	さんえんなんしん 国道474号 三遠南信自動車道	国	65.3億円
	国道 19号 藪原改良	国	8.7億円
	いこま 国道153号 伊駒アルプスロード	国	4.9億円
	ながの 国道 19号 長野19号 交差点改良等(神戸地区視距改良)	国	1.0億円

【山梨県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R4当初配分額
河川関係	ふじさん ふじよしだ なるさわ ほくろく ゆうさちこうぐん 富士山直轄砂防事業(富士吉田市、鳴沢村 北麓遊砂地工群 他)	国	5.7億円

【奈良県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R4当初配分額
道路関係	めいほん 国道25号 名阪道路	国	2.1億円

注1) 記載事業は、国庫債務負担行為(ゼロ国債)を除く。
 注2) 県をまたぐ事業については当該県分のR4当初配分額が記載されています。
 注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

○河川・ダム・砂防・海岸 メンテナンス事業

これまで防災・安全交付金等によって、地方公共団体が行う老朽化対策を支援してきたところですが、個別補助制度による支援に一本化し、「長寿命化計画(個別施設計画)の策定又は変更」を補助対象として、集中的かつ計画的な支援を実施します。

なお、個別補助事業の創設に伴い、以下の内容を拡充しました。

事業名	これまでの補助対象	個別補助事業の創設に伴い拡充される補助対象
河川 メンテナンス事業	・河川管理施設(ダム関連施設を除く)の長寿命化計画に基づく老朽化対策等 ・機械設備及び電気設備の年点検	—
ダム メンテナンス事業	・ダム本体、放流設備、関連設備、貯水池等の長寿命化計画に基づく老朽化対策	・機械設備及び電気通信設備の年点検
砂防 メンテナンス事業	・砂防関係施設の既存不適格対策等	・砂防関係施設の長寿命化計画に基づく老朽化対策
海岸 メンテナンス事業	・海岸保全施設の長寿命化計画に基づく老朽化対策 ・老朽化調査	—

令和4年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

静岡県	伊豆縦貫自動車道	天城湯ヶ島～河津
長野県	国道153号	飯田南道路
愛知県	名岐道路	(一宮～一宮木曾川)
静岡県・愛知県	浜松湖西豊橋道路	

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

岐阜県	中部縦貫自動車道	(平湯～日面)
愛知県	一宮西港道路	
静岡県	静岡南北道路	長沼立体

直轄による権限代行実施の検討を行うための調査

岐阜県	濃飛横断自動車道	(堀越峠工区)
-----	----------	---------

国道23号(十一屋・宝神交差点間)については、交通状況を踏まえ、名古屋市と連携し、整備方針を検討するための調査を実施します。

国道25号名阪国道の必要な事故対策等も含めた、奈良・三重間のネットワークの在り方について、調査検討を実施します。

名神名阪連絡道路について、計画の具体化に向けて滋賀県及び三重県と連携して進めます。

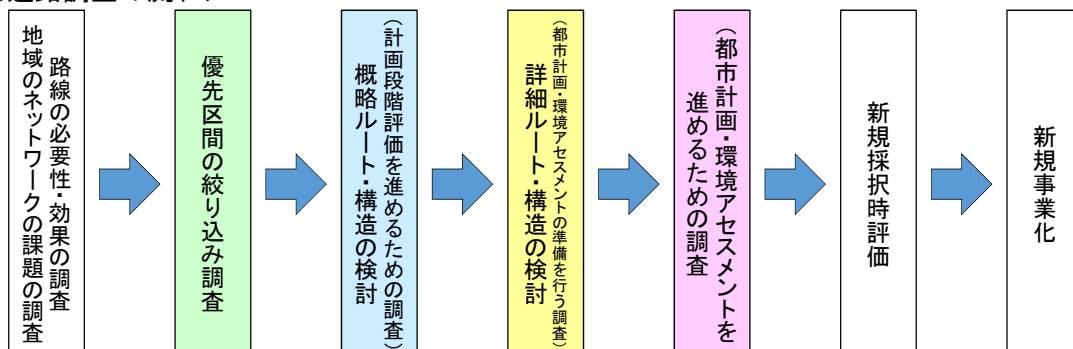
伊豆湘南道路について、計画の具体化に向けて神奈川県及び静岡県と連携して進めます。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、中京圏周辺のボトルネック箇所への集中的対策に向けた調査を推進します。

さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



令和4年度の道路調査の見通しについて（交通拠点）

交通結節点事業について、一般国道1号 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業を推進します。

また、静岡駅及び津駅周辺において、関係自治体と連携し、地域の意向を把握しつつ、交通拠点における機能強化・再編の必要性等の調査を実施します。

さらに、地域における道路交通に関する課題を把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、道路ネットワークにおける拠点の機能強化の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<交通拠点の調査の流れ>

